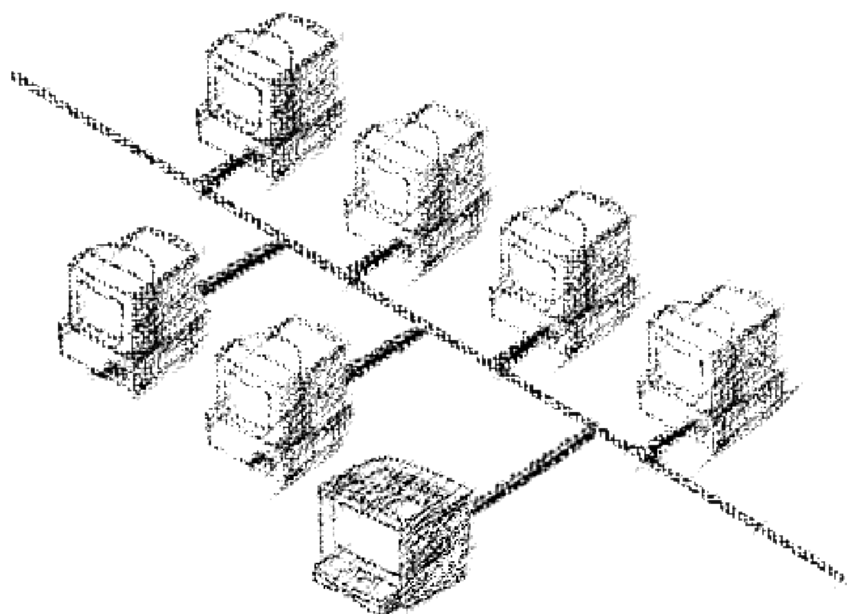
EM-900CN

ネットワーク設定ガイド



EPSON

EM900CNML3
4010679
K02-00

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

目次

6 AppleTalk 印刷

7 Windows95/98 印刷

8 WindowsNT4.0 印刷

9 設定ユーティリティの各機能

10 EpsonNet WebManager について

11 付録

マークについて



このマークの部分には注意事項が記載されています。必ずお読みになるようお願いいいたします。



このマークの部分には、補足的な説明が記載されています。

表記について

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version 3.51 日本語版

の表記について

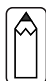
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows95/98/NT」のように Windows の表記を省略することがあります。

1 ご使用の前に

この章では、ネットワークI/Fおよびネットワーク設定に使うソフトウェアの概要や、ネットワークI/Fを使用するための設定の概要を説明します。
ネットワークの設定を行う前に、本章をよくお読みください。

機能の概要

- ネットワークI/Fは10BASE-T/100BASE-TX用RJ-45コネクタを装備しています。コネクタは自動選択されます（手動での選択はできません）。
- EPSONプリントサーバ管理者用ユーティリティであるEpsonNet WinAssistからは、ネットワークI/FのTCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk情報が設定できます。EpsonNet MacAssistからは、ネットワークI/FのTCP/IPとAppleTalk情報が設定できます。
- ネットワークI/FにIPアドレスを設定すると、Webブラウザで動作する管理者用ユーティリティのEpsonNet WebAssistから、ネットワークI/FのNetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP情報が設定できます。
- EpsonNet WebAssistからは、プリンタの現在の状態が確認できます。
- EpsonNet WebAssistからは、SNMPのコミュニティ、トラップ、管理者情報が設定できます。
- ネットワークI/Fが、プリンタの代わりにプリンタMIBの応答を行います。この代理応答機能により、ネットワーク上ではプリンタを、SNMP、プリンタMIB対応プリンタとして扱うことができます。



本製品には、ネットワーク上でのトラブルのほか、ネットワークインターフェイスをご利用いただく上での質問事項にお答えできるよう「FAX問い合わせ票」が同梱されています。ネットワーク関連のトラブルなどにつきましては、こちらをご利用ください。

動作環境

対応 OS とプロトコル

OS	バージョン	対応プロトコル
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J	・NDS モード ・キューベースプリントシステム ・NDPS
Macintosh	・漢字 Talk 7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x	・AppleTalk
Windows95/98	--	・TCP/IP（ユーティリティ EpsonNet Direct Print 使用） ・NetBEUI
WindowsNT	・3.51 ・4.0	・TCP/IP（LPR） ・NetBEUI



- **NetWare5J の NDPS にある[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **WindowsNT は、WindowsNT（Intel 版）にのみ対応しています。**
- **NetWare サーバがない環境や、NetWare サーバにログインしていない環境では、EpsonNet WinAssist による NetWare の設定はできません。**
- **EpsonNet WebAssist を使用するには、お使いのコンピュータにあらかじめ TCP/IP が組み込まれている必要があります。TCP/IP の確認をする場合は、「4 TCP/IP の設定」を参照してください。**
- **WindowsNT3.51 からは、ネットワーク I/F の設定のみ行えます。WindowsNT3.51 からの印刷はできません。**

作業の進め方

次の手順で、ネットワークへの接続からプリンタ設定までを行います。詳しくは、参照ページをご覧ください。

作業の内容	参照ページ
1 ネットワークへの接続	**「2 ネットワークへの接続」**



作業の内容	参照ページ
2 設定ユーティリティのインストール	**「3 設定ユーティリティのインストール」**



TCP/IP を使って印刷する場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合

作業の内容	参照ページ
3 ネットワーク I/F の設定に使う OS へ TCP/IP を組み込んで、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する	**「4 TCP/IP の設定」**



4 次の中から印刷に使用する OS を選び、ネットワーク I/F の設定をする

OS	印刷方法	参照ページ
NetWare	バインダリプリントサーバ印刷 NDS プリントサーバ印刷 リモートプリンタ印刷 NDPS 印刷	**「5 NetWare 印刷」**
Macintosh	AppleTalk 印刷	**「6 AppleTalk 印刷」**
Windows95/98	EPSON TCP/IP 印刷 NetBEUI 印刷	**「7 Windows95/98 印刷」**
WindowsNT4.0	TCP/IP(LPR)印刷 NetBEUI 印刷	**「8 WindowsNT4.0 印刷」**

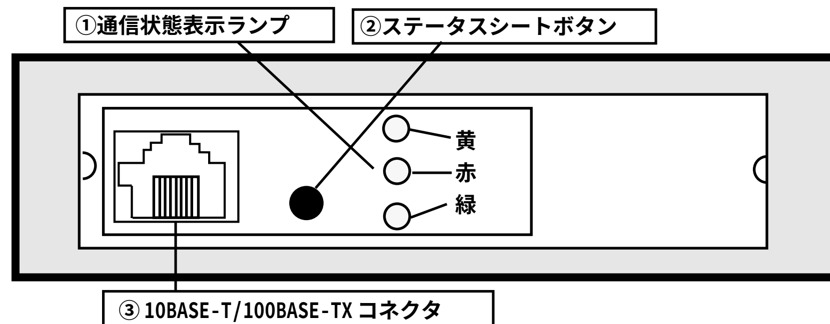
2 ネットワークへの接続

この章ではネットワークI/Fの各部の名称と、ネットワークへの接続について説明します。

ネットワークへの接続は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してから行ってください。

各部の名称と機能

ネットワークI/Fの各部の名称と機能を説明します。



①通信状態表示ランプ

ネットワークI/Fの状態を表示します。

赤	緑	状態
点滅	点滅	プリンタの初期化中（同時に点滅）
消灯	点灯	正常動作中
消灯	点滅（ゆっくり）	印刷中
消灯	点滅（速い）	データ送受信中
点灯	消灯	エラー

黄色のランプは、コネクタの接続状況を表示するものです。100BASE-TX/10BASE-Tの切り替えは、ネットワークI/Fが自動的に行います。

黄	状態
点灯	100BASE-TXで接続されている場合
消灯	10BASE-Tで接続されている場合

②ステータスシートボタン

このボタンを3秒以上押すと、プリンタがステータスシートを印刷します。ステータスシートにはネットワークI/Fの現在の設定状況が印刷されます。

また、ステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源を入れる（ステータスシートボタンは5秒以上押し続ける）と、ネットワークI/Fが初期化されて工場出荷時の設定に戻ります。

次の場合、ステータスシートは印刷できません。

・　プリンタが印刷不可状態のとき

・　プリンタが印刷中のとき



ボタンを押してもステータスシートが印刷されない場合は、プリンタが印刷可能状態になっているかを確認してください。印刷可能状態にもかかわらず印刷されない場合は、一度プリンタの電源を切ってください。通信状態表示ランプが消えてから再び電源を入れ、ステータスシートボタンを押してください。

③ 10BASE-T/100BASE-TX コネクタ

STPのカテゴリー5ケーブルを接続します。

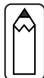
STPカテゴリー5ケーブルは、10BASE-T、100BASE-TXのどちらにも使えます。

ネットワークへの接続

プリンタをネットワークに接続します。プリンタの電源を切ってから行ってください。

1 ネットワークケーブルの接続

ネットワーク I/F の 10BASE-T/100BASE-TX コネクタからネットワークに、ネットワークケーブルを接続します。



- **本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値にプライベートアドレス [192.168.192.168]が設定されています。お使いのネットワーク環境に、これと重複する IP アドレスがないことを確認してください。重複する IP アドレスがある場合は、ネットワーク管理者に確認の上、重複している機器の電源をオフにして、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。設定の方法は「4 TCP/IP の設定」をご覧ください。**
- **本製品は、クロスケーブルによるコンピュータとの直接接続には対応していません。10BASE-T や 100BASE-TX の場合、必ず HUB を介して接続してください。**
- **ケーブルは、シールドケーブルを使用してください。**

2 プリンタの設定

プリンタの電源を入れます。プリンタの取扱説明書を参照して、インターフェイスの設定が自動選択に設定されていることを確認します。初期設定では自動に選択されています。詳しくは、ユーザーズガイド「各種機能の設定」をご覧ください。

3 ステータスシートの印刷

ネットワーク I/F のステータスシートボタンを 3 秒以上押し続けます。ステータスシートが印刷できたら、ネットワークへの接続は完了です。

ネットワーク I/F の初期化

次のような場合は、必ずネットワーク I/F を初期化して、工場出荷時の状態に戻してください。

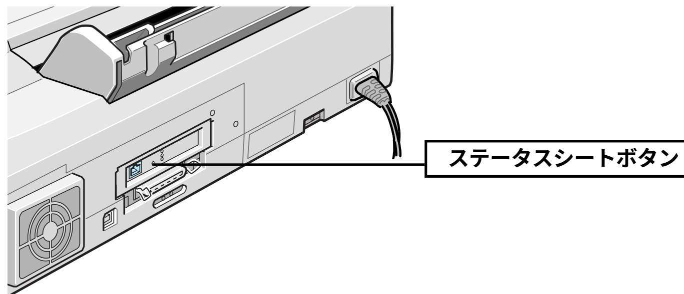
- 初めてプリンタの電源を入れるとき
- ネットワーク I/F に誤った設定をしたり、ネットワーク I/F が誤動作をして、ネットワーク I/F が設定ユーティリティに表示されなくなったとき

初期化の手順は次のとおりです。

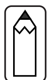
1 ネットワーク I/F の初期化

①プリンタの電源が入っていないことを確認します。

②ネットワーク I/F のステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。ステータスシートボタンは 5 秒以上押し続けます。



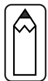
③ネットワーク I/F の緑と赤のランプが点滅し始めたら、ボタンから指を離します（初期化作業中であることを表します）。ランプの点滅が終わったら初期化は完了です。



設定ユーティリティからネットワーク I/F を初期化することもできます。詳しくは「9 設定ユーティリティの各機能」をご覧ください。

2 ステータスシートの印刷

初期化完了後、ステータスシートボタンを押してステータスシートを印刷します。ステータスシートは 2 枚印刷されます。シートの内容を確認してください。



プリンタの電源を入れた直後にステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F の現在の状態がステータスシートに反映されない場合があります。この場合は、しばらく待ってから、もう一度ステータスシートボタンを押してください。

ステータスシートの印刷例

```
+------------------------------------------------------------------------------+
|  EPSON  Type B Ethernet I/F Card Status Print(1/2)                           |
+------------------------------------------------------------------------------+
<General Information>
Card Type                     EPSON  10Base-T/100Base-TX Interface Card
Serial Number                 000048xxxxxx
MAC Address                   00:00:48:xx:xx:xx
Hardware                      Ver.
Software                      Ver.

<NetWare>                     Enable
Network Address               XXXXXXXX
Mode                          Standby
Primary Frame Type            Auto
Print Server Name             xx-xxxx-xxxxxx
Polling Interval              5
Primary File Server Name      (NONE)
NDS Tree                      (NONE)
NDS Context                   (NONE)
Primary Print Server Name     (NONE)
Printer Port Number           0

<TCP/IP>
IP Address                    192.168.192.168
Subnet Mask                   255.255.255.0
Default Gateway               255.255.255.255
RARP                          OFF
BOOTP                         OFF
DHCP                          OFF
PING                          ON

<AppleTalk>                   Enable
Printer Name                  EM-900C-XXXXXX
Zone Name                     *
Network Number Set            Auto
Network Number                XXXXX
Node ID                       XXXXX
Entity Type #1
.
Entity Type #15

<NetBEUI>                     Enable
NetBIOS Name                  EPxxxxxx
Workgroup Name                WORKGROUP
Device Name                   EPSON

+------------------------------------------------------------------------------+
|  EPSON  Type B Ethernet I/F Card Status Print(2/2)                           |
+------------------------------------------------------------------------------+
<SNMP>
Read Community                public
IP Trap 1                     Disable
IP Trap Address 1             0.0.0.0
IP Trap Community 1
IP Trap 2                     Disable
IP Trap Address 2             0.0.0.0
IP Trap Community 2
IPX Trap 1                    Disable
IPX Trap Address 1            00000000:000000000000
IPX Trap Community 1
IPX Trap 2                    Disable
IPX Trap Address 2            00000000:000000000000
IPX Trap Community 2
```

3 設定ユーティリティのインストール

プリンタをネットワークに接続したら、次にネットワークI/F設定ユーティリティEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistをインストールします。
ユーティリティの機能については、各章にあるEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistからの設定のページ、および**「9 設定ユーティリティの各機能」（「EpsonNet WinAssist」（118ページ）、「EpsonNet MacAssist」（128ページ））**をご覧ください。

動作環境

ネットワークI/Fの設定をするユーティリティ EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistの動作環境は次のとおりです。
EpsonNet WebAssistは、インストールの必要はありません。ネットワークI/FにIPアドレスを設定することで、Webブラウザから使用できます。

インストールの条件

EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistをインストールするコンピュータは、次の条件を満たしていることが必要です。

- ハードディスクの空き容量が4MB以上であること

動作環境

EpsonNet WinAssist		
対応機種	**対応OS**	**特長**
・右のOSが動作する環境 ・IBM PC/AT互換機、PC9801シリーズ	・Windows95/98 ・WindowsNT4.0/3.51 Server&Workstation	ネットワークI/FのTCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk情報を設定します。
EpsonNet MacAssist		
対応機種	**対応OS**	**特長**
・右のOSが動作する環境 ・Apple社Macintoshシリーズ	・漢字Talk 7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x	ネットワークI/FのTCP/IP、AppleTalk情報を設定します。
EpsonNet WebAssist		
対応機種	**対応ブラウザ**	**特長**
・右のブラウザが動作する環境	・インターネットエクスプローラVersion4.0以降（添付のもの以外も可） ・ネットスケープナビゲータVersion 3.02以降	ネットワークI/FのNetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP情報を設定します。



- **EpsonNet WebAssistで、インターネットエクスプローラVersion4.0より前のバージョンを使う場合は、動作に次の制限があります。**
  - ○ **EpsonNet WebAssistの[オプション]メニューにある[ホームページの更新]が使えません。**
  - ○ **NT3.51用では、画面のページ送りが正常にできないことがあります。**
- **I/FカードPRIFNW1/2/2ACに付属のユーティリティ（EPSON Net!2）から、本製品を探索、設定することはできません。**
- **本ネットワークI/Fは、コンピュータとネットワークI/Fとの間にHUBを介して、ストレートケーブルで接続した環境でお使いください。**

EpsonNet WinAssist のインストール



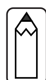
- **EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS でプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssist が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet WinAssist をアンインストールしてから、インストールし直してください。**
- **TCP/IP 印刷を行う場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合は、「4 TCP/IP の設定」を参照して TCP/IP の組み込みと設定を行ってから、EpsonNet WinAssist をインストールしてください。**
- **EpsonNet WinAssist のアンインストール方法は、「EpsonNet WinAssist のアンインストール」（156 ページ）を参照してください。**

1 インストール画面の起動

①同梱の EM-900C/900CN プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

② CD-ROM をセットすると、自動的に[EPSON インストールプログラム]が起動します。[ネットワークユーティリティのインストール（EM-900CN 用）]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。





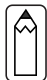
- **WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを入力し、OK ボタンをクリックします。**
  例） D:\EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）
- **Windows95/98/NT4.0 をご利用の場合で[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

2 インストール

①[EpsonNet WinAssist のインストール]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。

②この後は、画面の指示に従ってインストールします。





EpsonNet WinAssist 以外に Windows で使用できるユーティリティは、次のとおりです。

- **ネットワーク上のデバイスを Web ブラウザから管理する EpsonNet WebManager（「10 EpsonNet WebManager について」参照）**
- **Windows95/98 で TCP/IP 印刷をするときに使用する EpsonNet Direct Print（「7 Windows95/98 印刷」参照）**
- **ご利用のコンピュータからプリンタの状態をモニタできる EPSON プリンタウィンドウ!2（インストールは「セットアップガイド」を、使用方法は「ユーザーズガイド」を参照）**

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet WinAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする

EpsonNet MacAssist のインストール

1　インストール

①同梱の EM-900C/900CN プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をドライブにセットします。

②ディスクのウィンドウが開きますので、[ネットワークユーティリティ]フォルダをダブルクリックして開きます。
ディスクのウィンドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックして開いてください。



③[EpsonNet MacAssist]フォルダをダブルクリックして開きます。

④ EpsonNet MacAssist のアイコンをドラッグし、ハードディスクにコピーします。



これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet MacAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする

4 TCP/IP の設定

ネットワークに接続したプリンタで TCP/IP 印刷をする場合や、ネットワーク I/F の設定に EpsonNet WebAssist を使う場合は、この章をご覧になりネットワーク I/F に IP アドレスを設定してください。IP アドレスの設定は EpsonNet WinAssist/ EpsonNet MacAssist または ARP/PING コマンドで行います。

次のケースに該当する方は、本章にある設定を行ってください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする

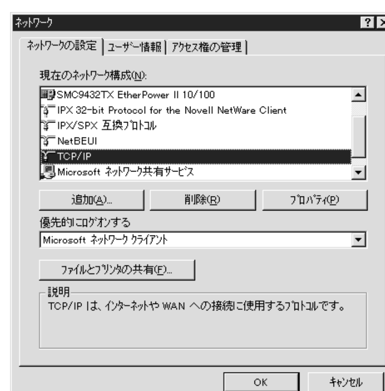
TCP/IP の組み込み

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定するためには、まずお使いのコンピュータに TCP/IP を組み込みます。

Windows95/98

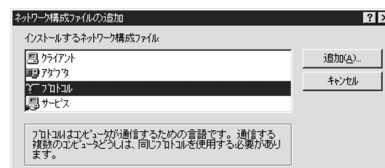
1 **TCP/IP の確認**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]画面の[現在のネットワーク構成]に[TCP/IP]があることを確認します。



2 **TCP/IP の追加**

①[TCP/IP]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で 追加 ボタンをクリックして[プロトコル]を選択し、追加 ボタンをクリックします。



②[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。製造元：Microsoft、ネットワークプロトコル：TCP/IP をクリックして追加します。



③追加した TCP/IP をダブルクリックして[TCP/IP のプロパティ]を起動し、IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」(157 ページ)**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

WindowsNT4.0

1 TCP/IPの確認

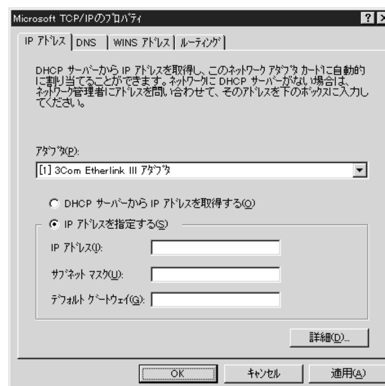
[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で[TCP/IPプロトコル]が組み込まれていることを確認します。



2 TCP/IPの追加

①[TCP/IPプロトコル]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で 追加 ボタンをクリックして、[TCP/IPプロトコル]を追加します。画面の指示に従ってください。
また、TCP/IP印刷を行えるようにする場合は、手順1の画面で[サービス]をクリックして、表示される画面で 追加 ボタンをクリックして[Microsoft TCP/IP印刷]を追加します。画面の指示に従ってください。

②インストールが終了してからネットワーク画面で 閉じる ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IPのプロパティ]画面が開いてIPアドレスを設定できます。
設定するIPアドレスについては**「困ったときは」(157ページ)**を参照してください。





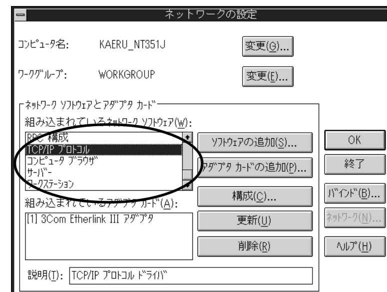
IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

③インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

WindowsNT3.51

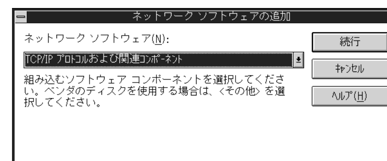
1 **TCP/IP の確認**

[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていることを確認します。

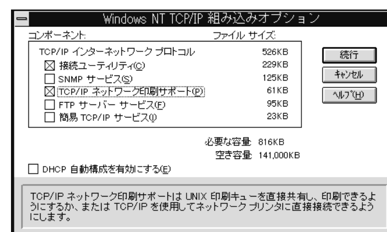


2 **TCP/IP の追加**

① TCP/IP が組み込まれていない場合は、手順1の画面で [ソフトウェアの追加] ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント]を選択します。



②[Windows NT TCP/IP 組み込みオプション]画面が表示されるので、[接続ユーティリティ]と[TCP/IP ネットワーク印刷サポート]をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。



③インストールが終了して、[ネットワークの設定]画面で [OK] ボタンをクリックすると、[TCP/IP の構成]画面が開き IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」(157 ページ)**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

④インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

Macintosh（Open Transport 使用）

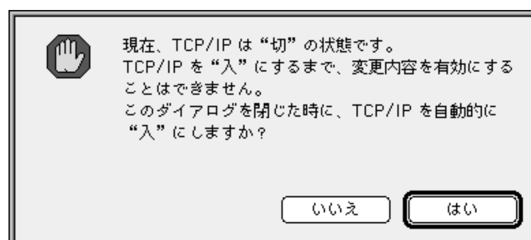
EpsonNet WebAssist を使用する場合、Macintosh にも IP アドレスを設定する必要があります。

1 AppleTalk の経由先確認

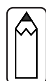
コントロールパネルで[AppleTalk]アイコンをダブルクリックし、経由先が[Ethernet]に設定されていることを確認します。

2 アドレスの設定

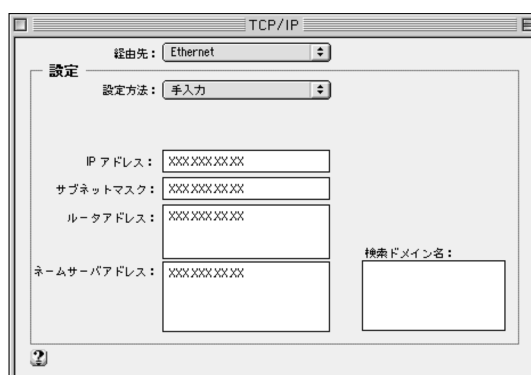
①コントロールパネルの[TCP/IP]をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。



② IP アドレスなどの必要事項を設定します。
設定する IP アドレスについては、**「困ったときは」（157 ページ）**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。



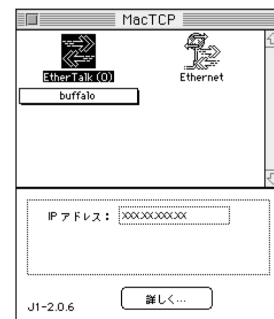
Macintosh（旧ネットワークソフト使用）

1 Ethernetの確認

コントロールパネルの[ネットワーク]を起動して、[EtherTalk]を選択します。

2 IPアドレスの確認

コントロールパネルで[MacTCP]アイコンをダブルクリックし、IPアドレスが設定されていることを確認します。

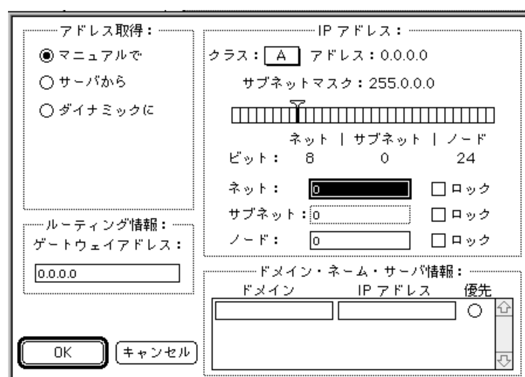


3 アドレスの設定

IPアドレスが設定されていない場合は、詳しく... ボタンをクリックして次の画面で必要事項を設定してから、手順2の画面でIPアドレスを設定してください。設定するIPアドレスについては、**「困ったときは」（157ページ）**を参照してください。

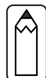


IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。



IP アドレスの設定

コンピュータに TCP/IP を組み込んだら、次にネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。



本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値に[192.168.192.168]というプライベートアドレスが設定されています。
使用環境によっては、IP アドレスがこの値と重複する場合があります。その場合は、重複している機器の電源をオフにした状態で、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。
設定する IP アドレスや、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値については、必ずネットワーク管理者の方に確認してください。

EpsonNet WinAssist/MacAssist から

ここでは、Windows95 の画面を例に説明します。

1 プロトコルの確認

Windows95/98/NT をお使いの場合は、TCP/IP が組み込まれていることを確認します。
Macintosh をお使いの場合は、AppleTalk が組み込まれていることを確認します。

2 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 EpsonNet WinAssist/MacAssist の起動

① Windows95/98/NT4.0 は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist (共通)]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。
Macintosh は、[EpsonNet MacAssist]のアイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- 設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ステータスシートで確認できます。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（120、121ページ）で設定すると、表示されます。

4 TCP/IPの設定

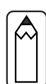
[TCP/IP]タブをクリックして、各項目を設定します。



IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。



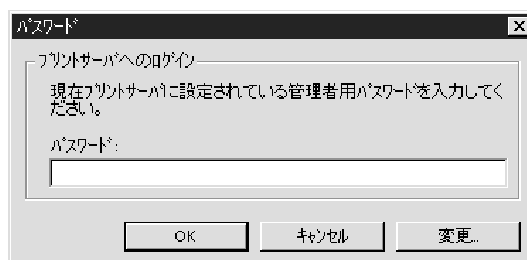
設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、自動/DHCP/BOOTP/RARP/手動から選択します。[自動]を選択すると、DHCP/BOOTP/RARP すべてが有効になります。 BOOTP/RARP/手動を選択したら、下の[IP アドレス]でアドレスを設定します。 **DHCP/BOOTP/RARP を使用するにはそれぞれのプロトコル用サーバが必要です。対応サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。** EpsonNet WebAssist を使用する場合は、ネットワーク I/F の IP アドレスが URL になります。
PING による設定	この項目は、[IP アドレスの取得方法]が[手動]の場合に有効になります。ARP/PING コマンドは IP アドレスを設定するコマンドです。この項目を有効にすると、ARP/PING コマンドでの IP アドレスの設定が可能になります。 EpsonNet WinAssist から IP アドレスを設定する場合は、ARP/PING コマンドから IP アドレスが変更されないよう、本項目のチェックを外してください。 EpsonNet WebManager を使う場合、本項目のチェックを外してください。 EpsonNet MacAssist には、この機能はありません。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。 **ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。** 設定するアドレスは、**「困ったときは」(157 ページ)** を参照してください。 初期値は[192.168.192.168]です。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。



DHCP で IP アドレスを取得する場合、プリンタの電源を入れるたびにプリンタポートの設定を変更する必要があります。TCP/IP 印刷をする場合は、[IP アドレスの取得方法]で[手動]を選択して IP アドレスを設定することをお薦めします。

5 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122、130ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。
このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

これで、ネットワークI/FへのIPアドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- NetWare印刷　**「5 NetWare印刷」**
- AppleTalk印刷　**「6 AppleTalk印刷」**
- Windows95/98印刷　**「7 Windows95/98印刷」**
- WindowsNT4.0印刷　**「8 WindowsNT4.0印刷」**

ARP/PING コマンドから

ネットワーク I/F の IP アドレスを、ARP/PING コマンドから行う方法を説明します。
このコマンドは、Windows95/98/NT に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合に使用できます。
この方法は、ネットワーク I/F と同じセグメント内のホストでのみ使用できます。



EpsonNet WinAssist/WebAssist をお使いの場合は、次の操作の前に、EpsonNet WinAssist/WebAssist の TCP/IP 設定画面で、[PING による設定]（25 ページまたは 30 ページ）にチェックが付いている（または[ON]になっている）ことを確認してください。チェックがない場合は ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定ができません。

ここでは、ネットワーク I/F の IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 デフォルトゲートウェイアドレスの設定

「TCP/IP の組み込み」（18 ページ）の説明を参照して、ARP/PING コマンドからの設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

・ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、サーバやルータのアドレスを入力します。

・ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに入力します。

2 プリンタと MS-DOS プロンプトの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで[MS-DOS プロンプト]を起動します。

3 最寄りのコンピュータへの ping コマンド実行

最寄りの動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあればそれらに対して ping コマンドを実行します。

書式）ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）

例）　IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
C:\>ping_192.168.100.101

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます(time などの値は変動します)。

TCP/IP の設定

4 arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、ネットワーク I/F に設定したい IP アドレスを、ネットワーク I/F の MAC アドレスと関連付けます。



- **IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**
- **MAC アドレスは、ネットワーク I/F のステータスシートで確認できます。**

書式）arp_-s_ ネットワーク I/F に設定したい IP アドレス _ ネットワーク I/F の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

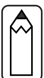
5 ネットワーク I/F への ping コマンド実行

ping コマンドを実行して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定します。

書式）ping_ 手順 4 でネットワーク I/F に設定した IP アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。



ping コマンドでは、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは変更できません。これらを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist を使用してください。

6 ステータスシートの印刷

ネットワーク I/F のステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- NetWare 印刷　**「5 NetWare 印刷」**
- AppleTalk 印刷　**「6 AppleTalk 印刷」**
- Windows95/98 印刷　**「7 Windows95/98 印刷」**
- WindowsNT4.0 印刷　**「8 WindowsNT4.0 印刷」**

IP アドレスの変更

このページは、EpsonNet WebAssist を使ってネットワーク I/F の TCP/IP 情報を変更する場合にのみご覧ください。

ネットワーク I/F の IP アドレスを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist や ARP/PING コマンドのほかに、EpsonNet WebAssist を使うことができます。



- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して ブラウザの起動 ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

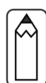
書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

TCP/IP の設定

3 TCP/IP の設定

メニューの[設定]にある[TCP/IP]をクリックして、各項目を設定します。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

TCP/IP

IPアドレスの取得方法	Manual
PINGによる設定	OFF
IPアドレス	XX.XX.XXX.XXX
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	255.255.255.255

送信

設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、Manual/RARP/BOOTP/DHCP から選択します。 **RARP/BOOTP/DHCP を使用するにはそれぞれのプロトコル用サーバが必要です。対応サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。** これらの環境がない場合は、[Manual]を選択して各アドレスを設定します。
PING による設定	この項目は、[IP アドレスの取得方法]が[Manual]の場合に有効になります。 IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合は[ON]を、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist から設定する場合は ARP/PING コマンドから IP アドレスが変更されないよう、[OFF]を選択してください。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。 **ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**設定するアドレスは、**「困ったときは」（157 ページ）**を参照してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

4　設定の保存

①送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は、**「パスワード」（139 ページ）**をご覧ください。

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

OK

キャンセル

リソース：　EPSON TYPE-B NETWORK I/F CARD SET

ユーザー名(U):　　　　入力不要

パスワード(P): ********　　　　パスワード入力

□ このパスワードを保存する(S)

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

設定は正常に更新されました！

設定を有効にするためにはリセットの送信

またはプリンタの電源の再投入をしてください。

今すぐリセット

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。



IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet WebAssist を使う場合は、EpsonNet WebAssist の再起動が必要です。設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet WebAssist を再起動してください。

以上で設定は終了です。

5 NetWare 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、NetWareで使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

サーバ環境

- NetWare3.1J/3.11J/3.12J/3.2J
- NetWare4.1J/4.11J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- IntranetWare-J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- NetWare5J（NDS/ キューベースプリントシステム /NDPS）

クライアント環境

- NetWareがサポートしているクライアント環境
- ネットワークに接続したプリンタのプリンタドライバが使えること

使用上の注意

モードについて

ネットワークI/Fにはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは任意に設定できます。通常はプリントサーバモードをお薦めします。NetWareファイルサーバのユーザ数に余裕がなければリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード(NDS/Bindery Print Server)

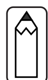
特徴

- 8台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWareのユーザアカウントを使用する
- プリントキューは最大32ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード(Remote Printer)

特徴

- NetWareのユーザアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJで最大16台、NetWare4.1xJ、IntranetWare-J、NetWare5Jでは最大255台まで可能



リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザアカウントを使用します。ユーザアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードではNetWareの機能は動作しません。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWareのNPRINTコマンドやDOSのリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

PCONSOLEでの制限

プリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLEのプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

IPXルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.1xJ以降はIPXルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本ネットワークI/Fは“NLSP”に対応していません。RIP/SAPにより通信を制御しています。
ルーティングプロトコルの選択肢には ①NLSPとRIP/SAP②RIP/SAP専用がありますが、“NLSPとRIP/SAP”が指定されている状態で、任意にRIP、SAPのバインドをはずした場合、ネットワークI/FはファイルサーバやNDSとの通信ができなくなりますので、ご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFGの、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリとNDSに関する注意点

- バインダリコンテキスト・パスは、サーバ・コンソールからSET BINDERY CONTEXTコマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCFファイル内に、SET BINDERY CONTEXTコマンドで設定します。
- 以下のNovellクライアントサービスをご使用の場合、EpsonNet WinAssistからのバインダリプリントサーバモードの設定はできません。バインダリモードでの設定を行う場合にはNovell IntranetWare Clientをお使いいただくか、EpsonNet WebAssistで設定を行ってください。
  Novell Client for Windows95/98 Version 3.00
  Novell Client for WindowsNT Version 4.50

詳しくはNetWare4.1xJ/5Jのマニュアルをご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ステータスシートと EpsonNet WebAssist では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。NDS コンテキストを２バイト文字で設定した場合、次のように表示・印刷されます(動作には支障ありません)。
ステータスシート："2Byte code are included!"
EpsonNet WebAssist："....Caution...See Help"
正しく表示させるには、EpsonNet WinAssist で文字を変更するか、EpsonNet WebAssist から ASCII 文字で入力してください。

ネットワーク I/F 情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大２分の時間がかかります。その間、ステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

NetWare5J を使用する場合

NetWare5J サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

動作モードが異なる場合の注意点

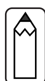
ネットワーク I/F に設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssist で NetWare の設定を行おうとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくない場合は、[キャンセル]をクリックして、ネットワーク I/F に設定されているモードでログインし直してください。

バインダリプリントサーバ印刷(NetWare3.xJ/4.1xJ)

NetWare3.xJ/4.1xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワークI/Fをお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。



設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。
Novell Client for Windows95/98 Version3.00
Novell Client for WindowsNT Version4.50

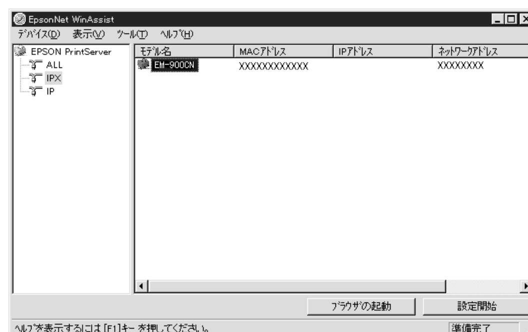
1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから[SUPERVISOR]と同等の権限をもつユーザ（バインダリ接続）でログインします。
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。



NetWare 印刷



- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **IP アドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（121 ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

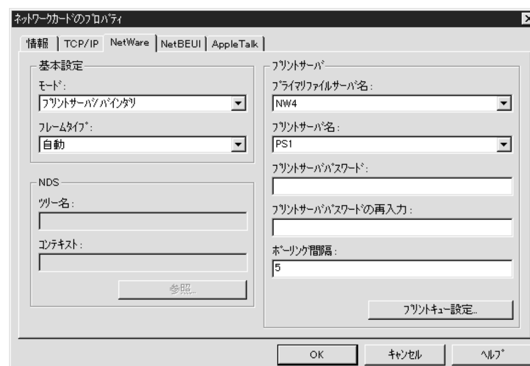
[NetWare]タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

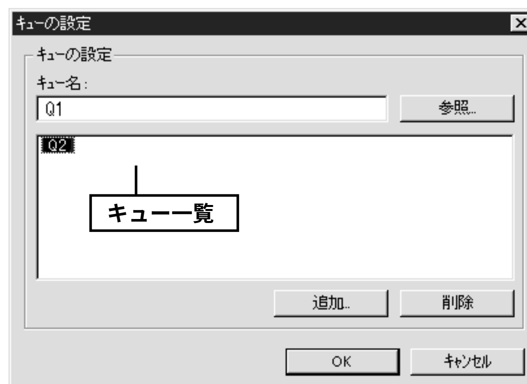
画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ/バインダリ]を選択すると表示されます。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/バインダリ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5〜90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次のページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

5 プリントキュー設定

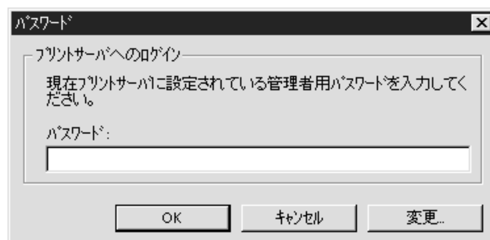
ネットワークI/Fへ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、OK をクリックします。



<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるプリントキュー名を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">参照</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、ログインしているファイルサーバ以下をすべて表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して OK をクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するファイルサーバをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。
[キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>追加</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。参照 で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

6 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまでは、ネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



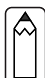
EpsonNet WinAssistで設定を保存すると、プリンタオブジェクトは[PR0]の名前で自動的に作成されます。
プリンタ名を変更する場合は、NetWareのユーティリティ[PCONSOLE]または[NWADMIN]から行ってください。

NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）

NetWare4.1xJ/5J/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）環境でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。



設定を行うコンピュータに、Client 32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。

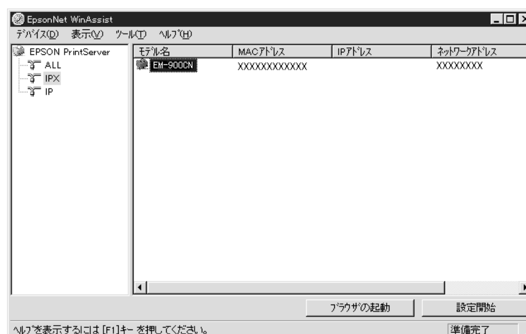
1 NetWare サーバへのログイン

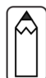
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

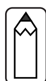




- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **IP アドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（121 ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ/NDS]を選択すると表示されます。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/NDS]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS **・参照でプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの欄を設定してください。** **・EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。** **・[ツリー名]と[コンテキスト]に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。**	
ツリー名	参照ボタンをクリックして、NDS ツリーを選択します。
コンテキスト	参照ボタンをクリックして、NDS コンテキストを選択します。

NetWare 印刷

設定項目	設定内容
プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	この欄の設定は不要です。
プリントサーバ名	NDS 欄で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5〜90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次のページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

5 プリントキュー設定

ネットワークI/Fへ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、OK をクリックします。



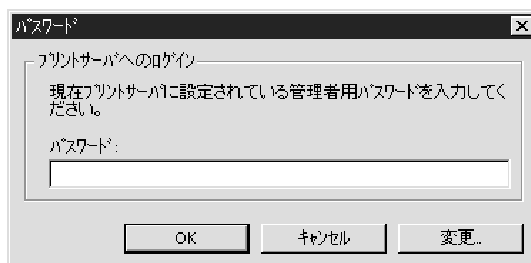
ここでは、[コンテキスト]欄で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。



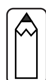
設定項目		設定内容
キュー名		ネットワークI/Fへ割り当てるキューを、[プリントキュー.部門名.組織名]の書式で表示します。
参照		割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、NDS欄で設定したツリー以下を表示します。
	キューの選択	プリントキューを選択して OK をクリックします。
	キューの新規作成	キューを作成するコンテキストをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。 [キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。[キュー作成サーバ]はキューを作成するサーバを選択します。 キューは、ファイルサーバのSYSボリューム下に作成されます。キューをSYSボリューム以外のボリュームに作成したいときは、PCONSOLEまたはNWADMINから作成してください。
	キューの削除	プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。
キュー一覧		プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。
追加		割り当てるキューを追加します。参照で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。
削除		キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。

6 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



EpsonNet WinAssistでの設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
プリントサーバ名_P0
プリンタ名を変更する場合は、NetWareのユーティリティ[PCONSOLE]または[NWADMIN]から行ってください。

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）

NetWare3.xJ/4.1xJ/5J/IntranetWare-Jのリモートプリンタモードでネットワーク I/Fをお使いになる場合の設定方法を説明します。

まず、PCONSOLEまたはNWADMINを使ってプリンタ環境を設定します。お使いのNetWareによって、使用するユーティリティと手順が異なります。次のページをご覧ください。

- **NetWare3.xJ**
  「プリンタ環境の設定（PCONSOLEから）」（次ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）**
  「プリンタ環境の設定（バインダリ）」（50ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）**
  「プリンタ環境の設定（NWADMINから）」（55ページ）

その後、EpsonNet WinAssistでネットワークI/Fの設定をします。



設定を行うコンピュータに、Client32またはIntranetWare Clientをインストールしておいてください。

プリンタ環境の設定（PCONSOLEから）

NetWare3.xJをお使いの方は、次の設定を行ってください。

1 NetWareサーバへのログイン

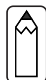
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントから[SUPERVISOR]と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントキューの登録

①PCONSOLEを起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー情報]を選択します。

②Insertキーを押して、[新プリントキュー名]欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報



設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、Insertキーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4 プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から[プリントサーバ情報]を選択します。

②Insertキーを押して、[新プリントサーバ名]欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

5 プリンタの構成

①[プリントサーバ]リストから作成したプリントサーバを選択すると、[プリントサーバ情報]画面が表示されますので、[プリントサーバ構成]を選択します。

②[プリントサーバ構成メニュー]画面が表示されますので、[プリンタの構成]を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

③[構成完了プリンタ]の最上段[インストールされていません（プリンタ番号＝0)]を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	|0
インストールされていません	|1
インストールされていません	|2

④次のように設定します。

プリンタ 0 の構成	
名前:Printer-0	任意のプリンタ名を入力
タイプ:リモートパラレル,LPT1	リモートパラレル ,LPT1 を選択
社別識別子:ESCP	任意に入力
IRQ:7	
バッファサイズ（K バイト）:3	
開始用紙:0	必要に応じた用紙の変更可
キューサービスモード	
ボーレート:	
データビット:	
ストップビット:	
パリティ:	
X-On/X-Off 使用有無	

⑤ Esc キーを押して、変更内容を保存します。

6 プリンタとキューの関連付け

①[プリントサーバ構成メニュー]から[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

②[定義済みのプリンタ]リストから、手順5で作成したプリンタを選択します。

③ Insert キーを押して、[使用可能キュー]リストから、手順2で作成したキューを選択してください。

④[優先順位]を1から10までの数値で指定します。1が最優先です。

7 PCONSOLE の終了

Esc キーを押して、PCONSOLE を終了します。このあとは、**「ネットワーク I/F の設定」（59 ページ）**へ進んでください。

プリンタ環境の設定（バインダリ）

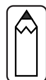
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）をお使いの方は、次の設定を行ってください。



- **必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。**
- **プリントキュー、プリントサーバは必ずPCONSOLEで設定してください。NWADMINではバインダリキューを作成できません。**

1 NetWareサーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからADMINと同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。



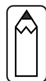
設定に使うクライアントがNDSモードでログインしている場合には、PCONSOLE起動時に F4 キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

2 プリントキューの登録

① PCONSOLEを起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントキュー名]を入力します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更



設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、Insert キーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4 プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から、[プリントサーバ]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントサーバ名]を入力します。

5 PCONSOLEの終了

PCONSOLEを終了して、NetWareサーバからログアウトします。

6 サーバへのログイン

NetWareサーバに、クライアントからADMINと同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS接続でログインしてください。

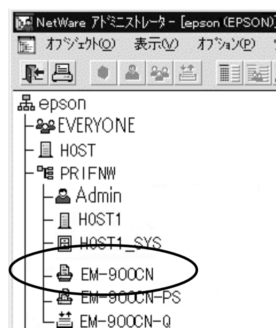
7 プリンタの作成

NWADMINを起動し、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

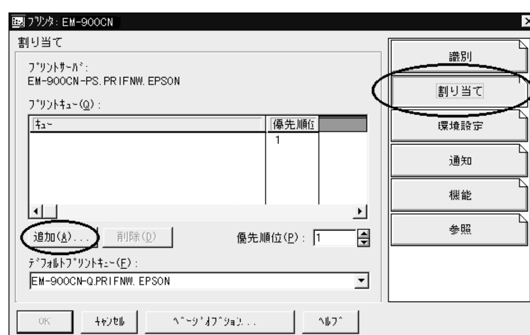


8 プリントキューの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順7で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て ボタンをクリックし、追加 ボタンをクリックします。



NetWare印刷

③プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順2で作成したキュー）を選択し、OK ボタンをクリックします。

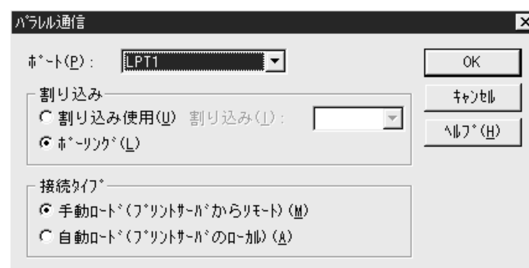


9 プリンタタイプの設定

①[プリンタ]画面に戻って 環境設定 ボタンをクリックし、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択して、右の 通信 ボタンをクリックします。



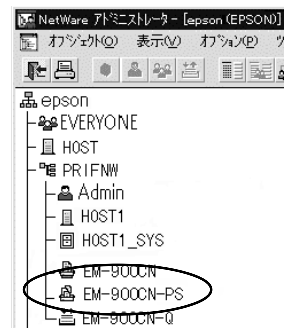
②ポート[LPT1]、割り込み[ポーリング]、接続タイプ[手動ロード]を選択します。



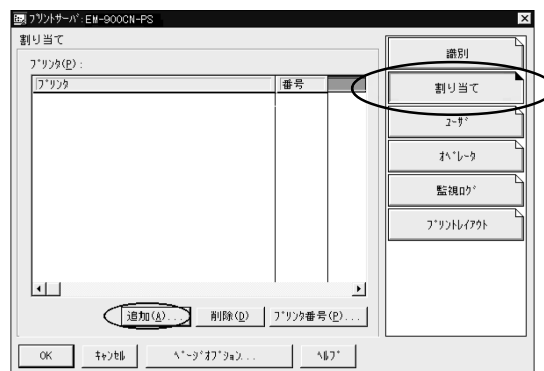
③設定が終了したら OK ボタンをクリックして[パラレル通信]画面を閉じ、[プリンタ]画面で OK ボタンをクリックします。

10　プリンタの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て ボタンをクリックし、追加 ボタンをクリックします。



③プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順7で作成したプリンタを選択し、OK ボタンをクリックします。

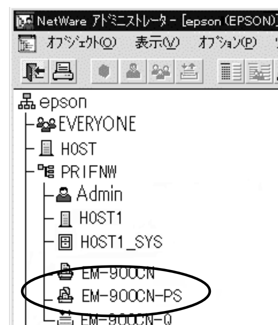


④②の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～15の範囲で設定し、OK ボタンをクリックします。

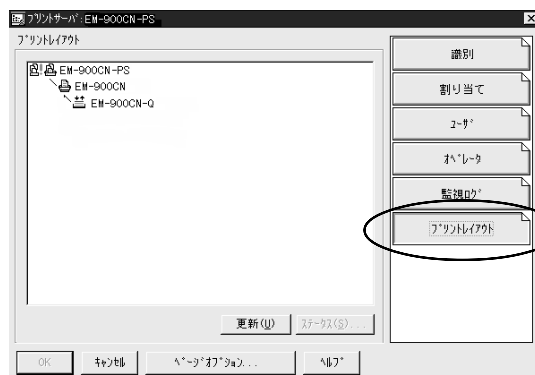


11 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。このあとは、**「ネットワークI/Fの設定」（59ページ）**へ進んでください。



プリンタ環境の設定（NWADMINから）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）をお使いの方は、NWADMINから設定できます。

1 NetWareサーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対してADMINと同等の権限のあるユーザでログインします。

2 プリンタの作成

NWADMINを起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。



3 プリントサーバの作成

ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントサーバ]を選択します。プリントサーバ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

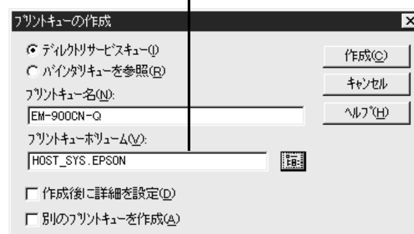


4 プリントキューの作成

①ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントキュー]を選択します。プリントキュー名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

②プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）



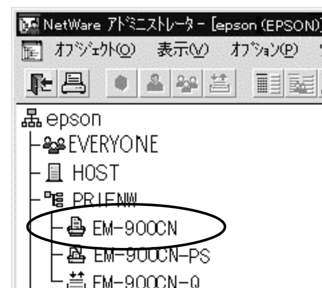


設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

NetWare 印刷

5 プリントキューの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

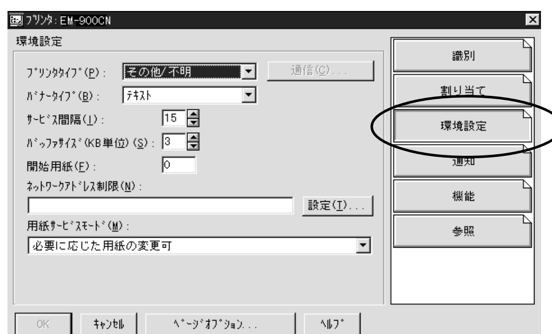


② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。



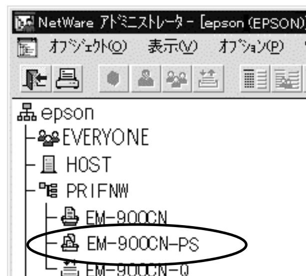
③プリントキューの一覧が表示されるので、手順4で作成したキューを選択し、OK ボタンをクリックします。

④ 環境設定 をクリックして[プリンタタイプ]欄で[その他/不明]を選択し、OK ボタンをクリックします。

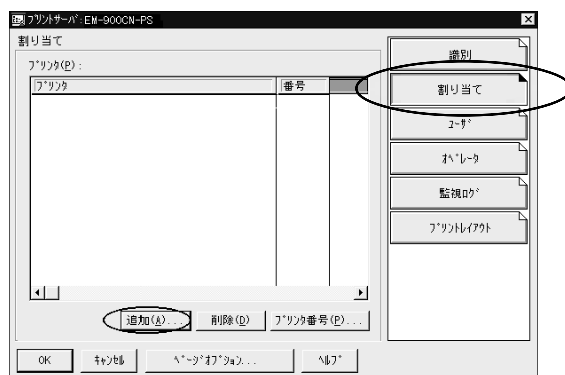


6 プリンタの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。



③プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し OK ボタンをクリックします。

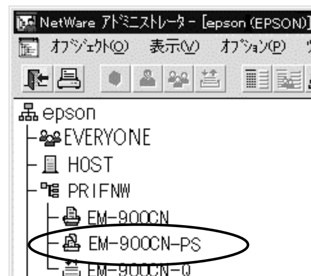


④②の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～254の範囲で設定し、OK ボタンをクリックします。

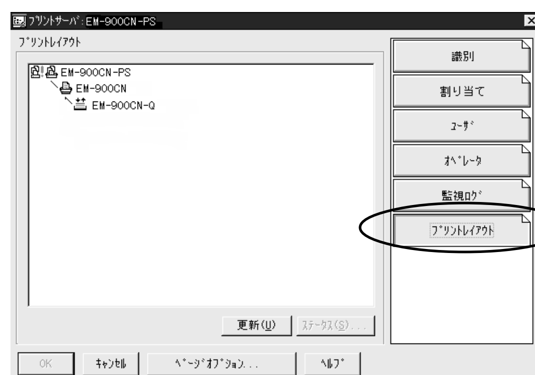


7　割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。続いて、次ページへ進んでください。



詳しくはNetWareのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから[SUPERVISOR]または[ADMIN]と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントサーバのロード

プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

> LOAD_PSERVER_PCONSOLE または NWADMIN で設定したプリントサーバ名（_ は半角スペース）

3 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **IP アドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（121 ページ）で設定すると、表示されます。**

4 NetWare設定画面の表示

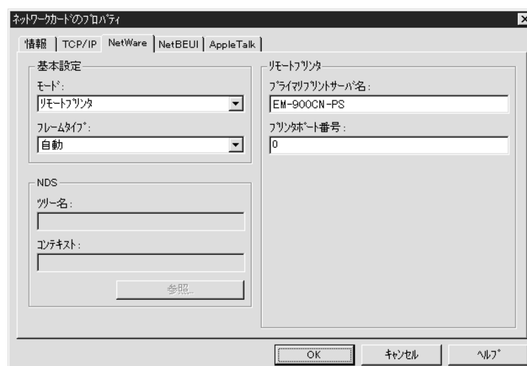
[NetWare]タブをクリックして、ネットワークI/FのNetWare情報を設定します。



現在ログインしているNetWareの環境とネットワークI/Fに設定してあるNetWare環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

5 基本設定とリモートプリンタ設定

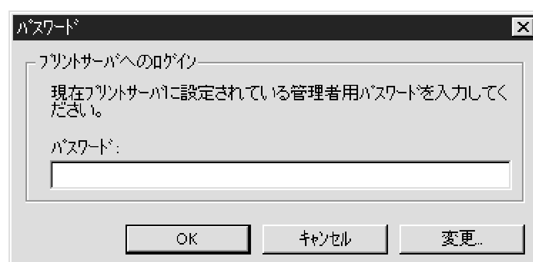
画面の右半分は、[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると表示されます。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLEまたはNWADMINで作成したプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLEまたはNWADMINで設定したリモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6 設定の保存

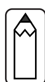
OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122 ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

NDPS ゲートウェイ印刷（NetWare5J）

NetWare5J には、NDPS が標準装備されています。ここでは、Novell NDPS ゲートウェイ経由で印刷する方法を説明します。
Novell NDPS ゲートウェイは、IPX 上の rprinter、IP 上の LPR、または従来からある IPX 上のキューベースプリントシステムを使って NDPS で印刷するためのソフトウェアです。



- **NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。**
- **本製品は、NDPS の[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。**

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5J に添付されている NDPS の説明書を参照してください。

1．接続方法の決定と環境設定 .... 63 ページ

↓

2．NDPS マネージャの作成 .... 64 ページ

↓

3．NDPS プリンタエージェントの作成 .... 65 ページ

↓

4．EpsonNet WinAssist からのネットワーク I/F 設定 .... 72 ページ

↓

5．プリンタ設定（クライアント）......................... 75 ページ

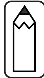
接続方法の決定と環境設定

1 接続方法の決定

次の3種類の接続方法から、ご利用の環境にあったものを選びます。

・リモート（IPX上でrprinter）

ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWareを初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。



リモート（IPX上でrprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

・リモート（IP上でLPR）

ゲートウェイ経由で、ネットワークI/FのIPアドレスを設定したプリンタに印刷できます。

・ジョブをキューに転送

ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2 必要なプロトコルのインストール（サーバ）

NetWareサーバに、次のプロトコルをインストールします。接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。

インストール方法はNetWare5Jのマニュアルをご覧ください。

・ リモート（IPX上でrprinter） .... IPX
・ リモート（IP上でLPR） .... TCP/IP
・ ジョブをキューに転送 .... IPX

3 クライアントソフトのインストール（クライアント）

クライアントに、NetWare5J添付のクライアントソフトをインストールします。このとき[標準のインストール]を選択すると、NDPSも自動的にインストールされます。

4 プリンタドライバのインストール（クライアント）

クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。インストール方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。



- **NetWareサーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。**
- **Novellプリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。**

NetWare印刷

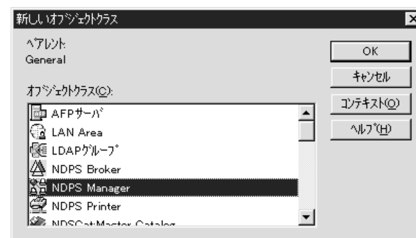
NDPS マネージャの作成

NetWare5J のツール[NWADMIN]から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

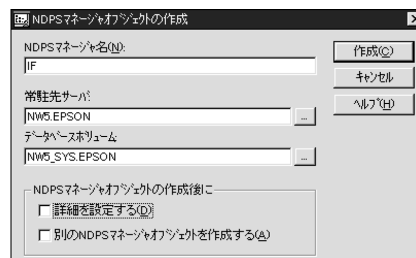
1 NWADMIN の起動

クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。

2 NDPS Manager の設定



①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Manager]を選択します。



②[NDPS マネージャ名]、[常駐先サーバ]、[データベースボリューム]を設定したら、作成 ボタンをクリックして設定を保存します。

3 NDPS マネージャのロード

NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。

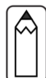
>LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）



コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に[LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名](_ は半角スペース）を記述してください。

NDPS プリンタエージェントの作成

続いて、NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。



ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳しくは NetWare5J のマニュアルを参照してください。

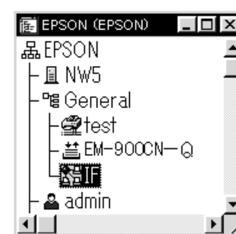
1 プリンタタイプの決定

次の２種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5J のマニュアルをご覧ください。

- **パブリックアクセスプリンタ（手順２へ）**
  この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。
- **コントロールアクセスプリンタ（手順３へ）**
  NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザだけが利用できます。

2 プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

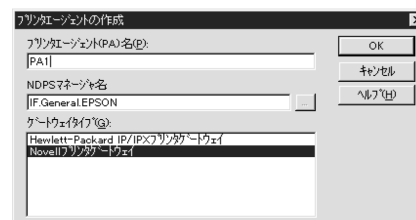
①作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの[オブジェクト]-[詳細]画面を起動します。



② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックして、新規 ボタンをクリックします。
新規 ボタンが無効になっている場合は、サーバーコンソールで NDPSM をロードしてください。

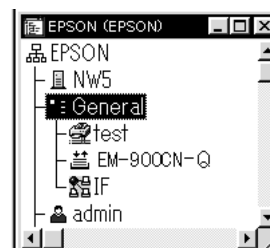


③[プリンタエージェント（PA）名]を入力します。
[ゲートウェイタイプ]は[Novell プリンタゲートウェイ]を選択し、OK ボタンをクリックします。続いて手順４へ進みます。

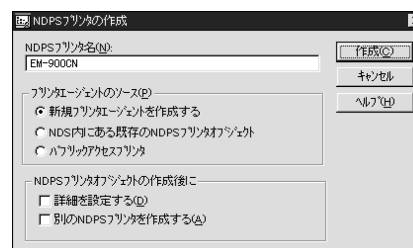


3 プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Printer]を選択します。



②[NDPSプリンタ名]を入力し、[プリンタエージェントのソース]欄では[新規プリンタエージェントを作成する]を選択して 作成 ボタンをクリックします。それ以外の項目については、NetWare5Jのマニュアルを参照してください。

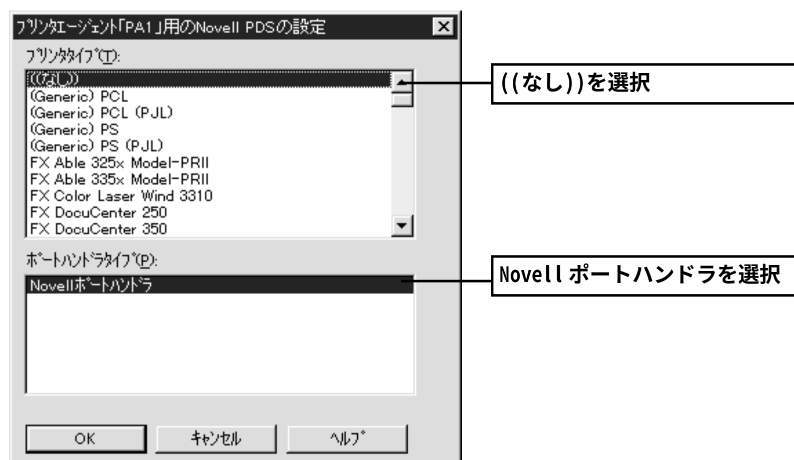


③[NDPSマネージャ名]では作成したNDPSマネージャを選択します。[ゲートウェイタイプ]は[Novell プリンタゲートウェイ]を選択し、 OK ボタンをクリックします。続いて手順4へ進みます。



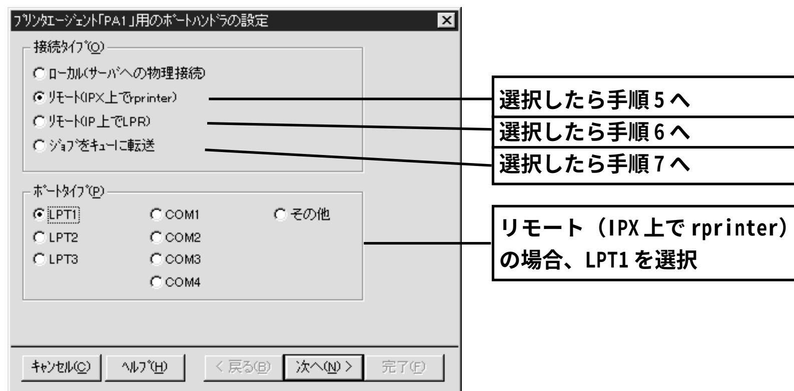
4 プリンタタイプと接続タイプの選択

①[プリンタタイプ]と[ポートハンドラタイプ]を選択して OK をクリックします。

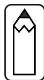


②お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し、次へ をクリックします。
ここで選択する[接続タイプ]によって、次の手順へ進んでください。

- [リモート（IPX 上で rprinter）]　：手順 5 へ
- [リモート（IP 上で LPR）]　：手順 6 へ
- [ジョブをキューに転送]　：手順 7 へ



5　（リモート（IPX上でrprinter））ポートハンドラの設定



ネットワークI/FのネットワークアドレスとMACアドレスは、ネットワークI/Fのステータスシートに印刷されています。

①次の項目を入力し、次へ をクリックします。

プリンタエージェント名が表示されます

プリンタ番号（0～254）を設定

ネットワークI/Fのネットワークアドレスを入力

ネットワークI/FのMACアドレスを入力

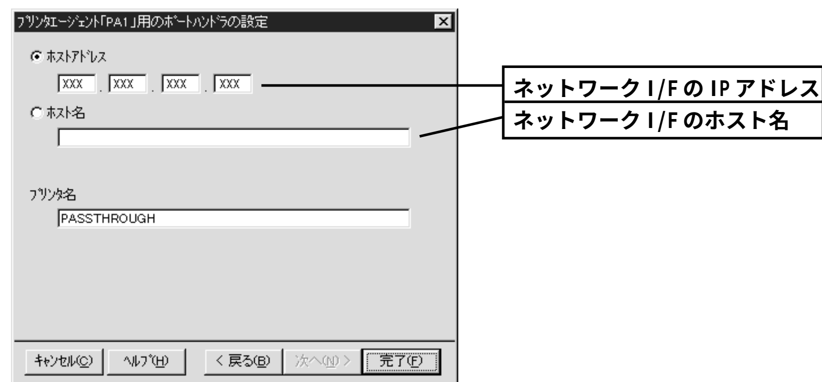
②[割り込み]は[なし]を選択し、完了 をクリックします。

③次の画面が表示されます。④の画面が表示されるまでお待ちください。

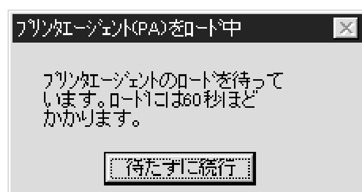
④[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

6　（リモート（IP上でLPR））ポートハンドラの設定

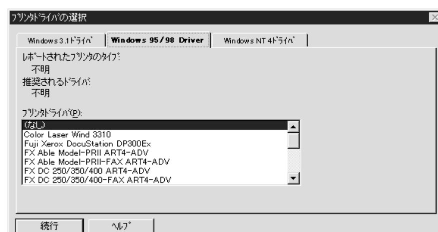
①次の項目を入力して 完了 をクリックします。DNSサーバーにネットワークI/Fのホスト名を登録してある場合は、[ホスト名]を入力します。[プリンタ名]は図のように初期値のままにしておきます。



②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。



③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。



NetWare印刷

7　（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については**「バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ)」（37 ページ）、「NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J)」（42 ページ）、「リモートプリンタ印刷（NetWare 3.xJ/4.1xJ/5J)」（47 ページ）**のいずれかを参照してください。

①[キュー名]と[キューユーザ名]を選択し、完了 をクリックします。



[キュー名]にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

プリンタエージェント「PA1」用のポートハンドラの設定

キュー名(Q):

EM-900CN-Q.General.EPSON

キューユーザ名(U):

admin.EPSON

注意

指定されたユーザがネットワークにログインするためにパスワードが必要となる場合は、このパスワードはサーバコンソールで入力する必要があります。このパスワードが入力されるまで、プリンタエージェントは機能しません。

キャンセル(C)　ヘルプ(H)　< 戻る(B)　次へ(N) >　完了(F)

ネットワーク I/F が有効なキューを選択

上のキューのユーザ権限をもつ名前を選択

②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

プリンタエージェント(PA)をロード中

プリンタエージェントのロードを待っています。ロードには60秒ほどかかります。

待たずに続行

③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

プリンタドライバの選択

Windows 3.1ドライバ　Windows 95/98 Driver　Windows NT 4ドライバ

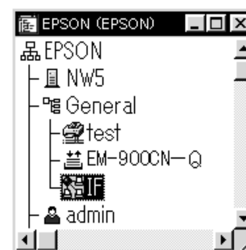
レポートされたプリンタのタイプ:
不明
推奨されるドライバ:
不明
プリンタドライバ(P):
(なし)
Color Laser Wind 3310
Fuji Xerox DocuStation DP300Ex
FX Able Model-PRII ART4-ADV
FX Able Model-PRII-FAX ART4-ADV
FX DC 250/350/400 ART4-ADV
FX DC 250/350/400-FAX ART4-ADV

続行　ヘルプ

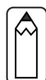
8 設定の確認

設定したNDPSプリンタエージェントを確認します。

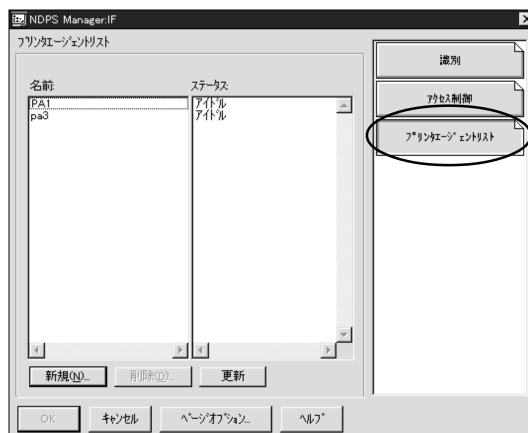
① NWADMINで、作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー[オブジェクト]-[詳細]画面を起動します。



② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックします。ここで、作成したNDPSプリンタエージェントのステータスが[アイドル]になっていることを確認します。



リモート(IPX上でrprinter)をお使いの場合は、次ページからの設定を行ってから、この画面でステータスが[アイドル]になることを確認してください。



[リモート（IPX上でrprinter)]の場合は、続いて次ページからの設定を行ってください。

[リモート（IP上でLPR)]、[ジョブをキューに転送]の場合は、続いて**「プリンタ設定（クライアント)」（75ページ）**へ進んでください。

NetWare 印刷

ネットワークI/Fへの設定（[リモート（IPX上でrprinter）]選択時）

リモート（IPX上でrprinter）の場合は、前ページに続いてEpsonNet WinAssistからネットワークI/Fを設定します。



- **次の操作は、[リモート（IPX上でrprinter）]をお使いの場合のみ設定してください。[リモート（IP上でLPR）]、[ジョブをキューに転送]をお使いの場合は設定不要です。**
- **設定を行うコンピュータに、Client32、IntranetWare Client、Novell Clientのいずれかをインストールしておいてください。**

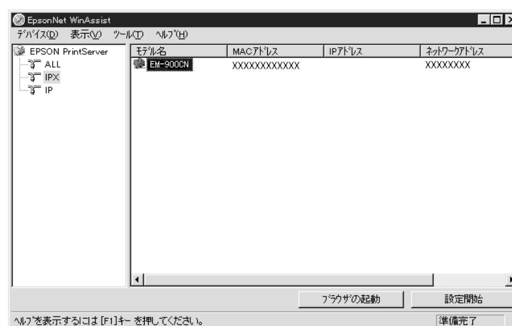
1 サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからADMIN権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssistの起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面のIPXグループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **IPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（121ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

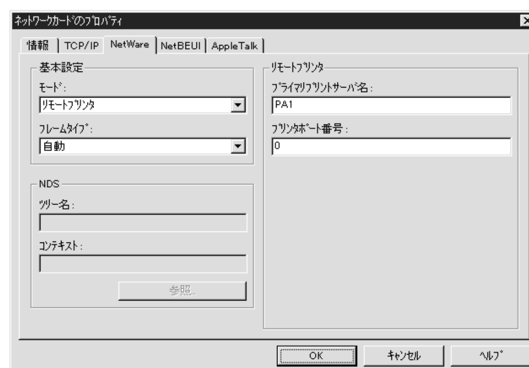
[NetWare]タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とリモートプリンタ設定

画面の右半分は、[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると表示されます。

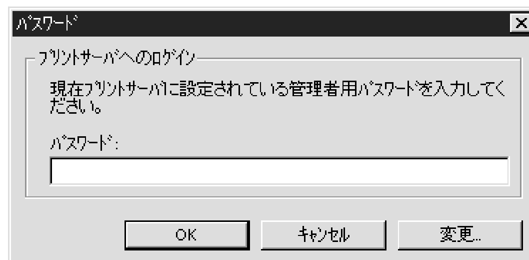


設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	68 ページの[SAP 名]と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を、0～254 の数字で設定します。68 ページの[プリンタ番号]と同じ数字を入力します。

NetWare 印刷

5 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」(122ページ)**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

この後は、71ページの手順8を行ってから、次ページへ進んでください。

プリンタ設定（クライアント）

クライアントはプリンタのマニュアルを参照してプリンタドライバをインストールした後、印刷先にプリンタエージェントを指定します。



Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

①プリンタのマニュアルを参照して、EPSON プリンタドライバをインストールします。

②[プリンタの追加]で印刷先を設定します。次のオブジェクトを出力先に設定してください。

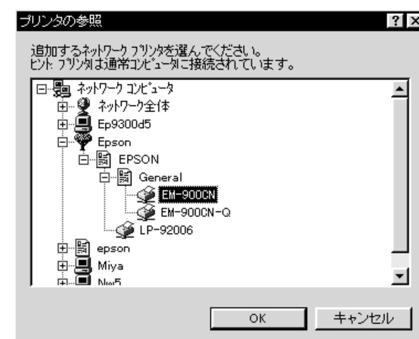
- **パブリックアクセスプリンタの場合**

  [Ndps パブリックアクセスプリンター]というネットワークグループの下に作成したNDPS プリンタエージェント



- **コントロールアクセスプリンタの場合**

  NDS ツリー内に作成した NDPS プリンタエージェント

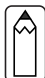




ステータスの表示、通知機能については、NetWare のマニュアルを参照してください。

EpsonNet WebAssistからの設定

EpsonNet WinAssistで行うネットワークI/Fの設定は、お手持ちのブラウザから EpsonNet WebAssistを使って行うこともできます。



- **EpsonNet WebAssistには、プリントサーバモードでのEpsonNet WinAssistのような、プリントサーバ/キュー/プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssistでオブジェクトを設定するときは、EpsonNet WinAssistやPCONSOLE、NWADMINで作成済みのオブジェクト名を入力してください。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssistとEpsonNet WebAssistから、同時に同じネットワークI/Fに対して設定をしないでください。**
- **コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssist/MacAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetWare基本設定



[NDS コンテキスト]欄の入力と表示について

- **半角英数文字（ASCII 文字）のみ使用できます。2 バイト文字は使えません。2 バイト文字で設定する場合は、EpsonNet WinAssist を使ってください。**
- **すでに 2 バイト文字で設定されている場合は「....Caution...See Help」と表示されますが、動作には支障ありません。**

メニューの[設定]にある[NetWare]をクリックして、各項目を設定します。

NetWare

NetWare基本設定

NetWare	Enable
フレームタイプ	Auto
動作モード	NDS Print Server
NDSツリー名	EPSON
NDSコンテキスト	epson

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>NetWare</td><td colspan="2">[Enable]を選択します。
[Disable]は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップルータで NetWare を[Enable]にしておくと不都合がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>フレームタイプ</td><td colspan="2">使用するフレームタイプを選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">動作モード</td><td colspan="2">お使いのモードにあわせて選択します。[NDS Remote Printer]は使用しないでください。</td></tr>
<tr><td>お使いのモード</td><td>選択する項目</td></tr>
<tr><td>4.1xJ/5J NDS プリントサーバ</td><td>NDS Print Server</td></tr>
<tr><td>3.xJ/4.1xJ バインダリプリントサーバ</td><td>Bindery Print Server</td></tr>
<tr><td>リモートプリンタ</td><td>Bindery Remote Printer</td></tr>
<tr><td>NetWare を使用しない</td><td>Standby</td></tr>
<tr><td>NDS ツリー名</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
<tr><td>NDS コンテキスト</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ入力します。
NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。先頭に「.」は付けないでください。
リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
</table>

4 プリントサーバの設定

[動作モード]で[NDS Print Server]または[Bindery Print Server]を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	HOST
プリントサーバ名	EM-900CN-XXXXXX
ポーリング間隔(5-90)	5 sec
NetWareパスワード	

設定項目	設定内容
プライマリファイルサーバ名	[Bindery Print Server]の場合のみ入力します。 プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名-シリアル番号の下 6 桁
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5～90 秒以内で設定します。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。

5 リモートプリンタの設定

[動作モード]で[Bindery Remote Printer]を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	EM-900CN-PS
プリンタポート番号(0-254)	0
	送信

設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート番号	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6 設定の保存

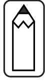
①［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（139 ページ）**をご覧ください。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③設定を有効にするために、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。



本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

各モードでの使用について

プリントサーバモード

必ず専用線接続で使います。

プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

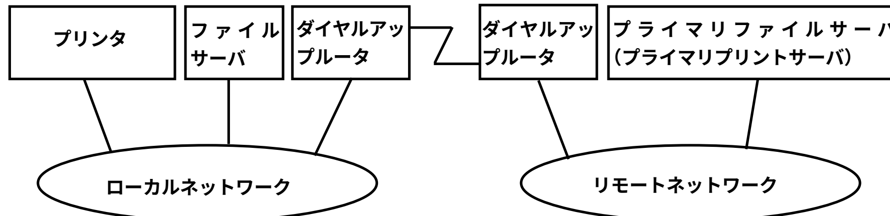
リモートプリンタモード

代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をおすすめします。

ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

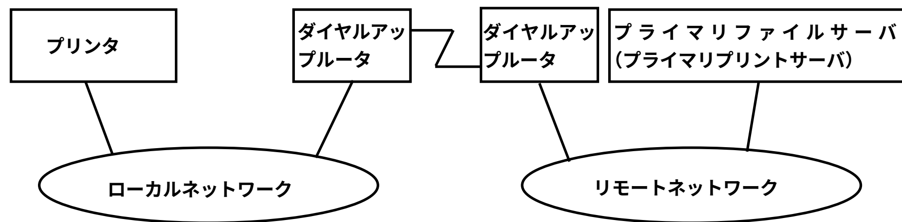
ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合



1. 電源投入時
ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の１回のみで、問題はありません。
2. ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合
ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。
ネットワークI/Fが正しく設定されていないことが原因です。本章にある設定を正しく行うと、この現象は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
NetWareのプロトコル規約により、SPX Watchdogパケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。
4. 正常動作中（印刷）
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。
これは自動再接続機能が原因です。一度、プリンタの電源をOFFにしてください。
6. ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合
ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークでNetWareと本ネットワークI/FのNetWareプロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本ネットワークI/Fも自動復帰します。

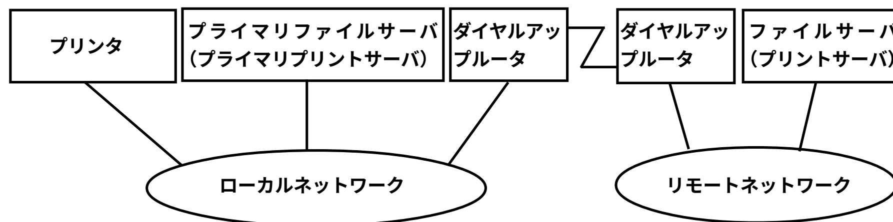
ローカルネットワークにファイルサーバがない場合



ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても
NetWareプロトコルが使えます。
この場合の注意は、前ページ**「ローカルネットワークにファイルサーバがある場合」**
の1から5と同様です。前ページをご覧ください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

本プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。



1. 電源投入時
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
2. 本ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ/プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。この章にある設定を正しく行えば、この問題は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
4. 正常動作中（印刷）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータがSAPパケット(Find Nearest Server)を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一度、本プリンタの電源をOFFにするか、ルータでSAPパケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

6 AppleTalk印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、Macintoshで使用する際の設定方法を説明します。MacintoshからはEtherTalkを利用して、Macintoshのネットワークでの印刷環境を設定できます。また、WindowsからもTCP/IP、IPXを利用してMacintoshのネットワーク印刷環境を設定できます。

対応するシステムは次のとおりです。

- Macintosh OS
  漢字Talk7.1/7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x
- EtherTalk Phase II
- EPSONプリンタドライバ

AppleTalkの設定

設定には3通りの方法があります。Macintoshから設定する場合は本ページの**「EpsonNet MacAssistから」**を、Windowsから設定する場合は**「EpsonNet WinAssistから」（89ページ）**をご覧ください。
ネットワークI/FのIPアドレスが設定してある場合は、EpsonNet WebAssistから設定することもできます。

EpsonNet MacAssistから

1 プリンタドライバのインストール

EM-900C/900CN同梱のプリンタドライバをインストールします。

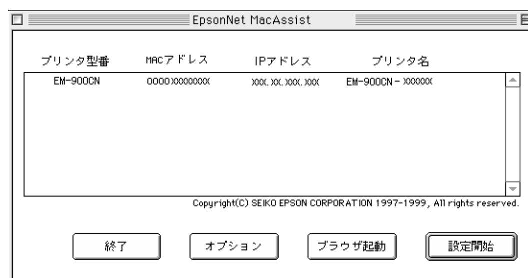
2 プリンタの起動

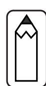
EM-900CNの電源をオンにします。

3 EpsonNet MacAssistの起動

①[EpsonNet MacAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

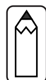




- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスはステータスシートで確認できます。**
- **お使いのコンピュータのゾーン外にあるプリンタは、[オプション]画面の[ゾーン選択]（129ページ）で設定すると、表示されます。**

4 AppleTalk 設定

[IP アドレスの設定][AppleTalk の設定]画面が表示されますので、各項目を設定します。



[IP アドレスの設定]については、「EpsonNet WinAssist/MacAssist から」(23 ページ)をご覧ください。

設定項目	設定内容
AppleTalk の設定	
プリンタ設定	
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
AppleTalk 設定	
ゾーン名	ゾーン名を選択します。
ネットワーク 番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
ネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0〜65534 の番号を入力します。

5 設定の保存

送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（130ページ）**を参照してください。

現在のプリントサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。
パスワード:
変更 キャンセル OK

「設定は正しく行われました。」と表示されたら更新は完了です。
このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

EpsonNet WinAssist から

EM-900CN を Windows で管理している場合は、Windows から EpsonNet WinAssist を使って設定します。

1 プリンタの起動

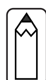
EM-900CN の電源をオンにします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①Windows95/98/NT4.0 は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist（共通)]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが未設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（120、121 ページ）で設定すると、表示されます。**

AppleTalk 印刷

3 AppleTalk 設定

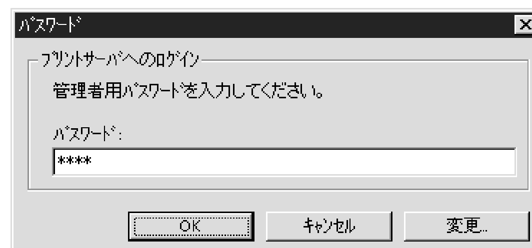
[AppleTalk]タブをクリックして、AppleTalk を設定します。



設定項目	設定内容
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ゾーン名	ゾーン名を半角英数 31 文字以内で入力します。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
エンティティタイプの設定	ここでの設定は不要です。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0〜65534 の番号を入力します。

4 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」(122 ページ)**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。このメッセージが表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

EpsonNet WebAssist から

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定してある場合は、EpsonNet WebAssist から設定できます。



- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet MacAssist/WinAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

EM-900CN の電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

3 AppleTalk の設定

メニューの[設定]にある[AppleTalk]をクリックして、各項目を設定します。

AppleTalk

AppleTalk	Enable
プリンタ名	EM-900CN-XXXXXX
エンティティタイプ	EPSONPAGEJ4
ゾーン名	*
ネットワーク番号設定	Auto
Manual設定時の ネットワーク番号(0-65534)	65534

送信

設定項目	設定内容
AppleTalk	[Enable]を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値：プリンタ名-ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	エンティティタイプを表示します。
ゾーン名	ゾーン名を半角英数 31 文字以内で入力します。
ネットワーク 番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[Auto]を選択します。
Manual 設定時のネットワーク番号	上の欄で[Manual]を選択した場合に、0 から 65534 の値を入力します。

4 設定の保存

①[送信]ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（139 ページ）**をご覧ください。

ネットワーク パスワードの入力
認証情報を入力してください。
OK
キャンセル
リソース：　EPSON TYPE-B NETWORK I/F CARD SET
ユーザー名(U):
パスワード(P): ********
このパスワードを保存する(S)
入力不要
パスワード入力

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

設定は正常に更新されました！
設定を有効にするためにはリセットの送信
またはプリンタの電源の再投入をしてください。
今すぐリセット

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

以上で設定は終了です。

7 Windows95/98 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、Windows95/98で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- EpsonNet Direct Printを使ってのTCP/IP（LPR）印刷
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

Windows95/98 は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使ってエプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。

EpsonNet Direct Print について

EpsonNet Direct Print は、Windows95/98 から TCP/IP（LPR）印刷を行うためのソフトウェアです。ソフトウェアをインストールして LPR プリンタを設定することにより、LPR 直接印刷が可能になります。

動作環境

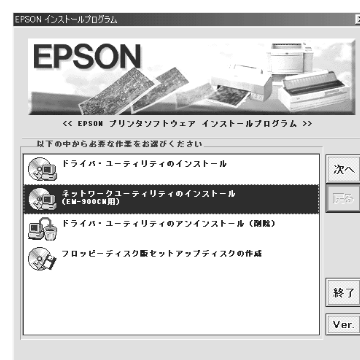
- IBM PC/AT 互換機、NEC 製 PC-9801 シリーズおよびその互換機
- Windows95、Windows98

EpsonNet Direct Print のインストール

まず、EpsonNet Direct Print をインストールします。ネットワークに接続され、TCP/IP が正しく設定されているコンピュータにインストールしてください。TCP/IP の設定については**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

1 インストール画面の起動

同梱の EM-900C/900CN プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をドライブにセットします。自動的に[EPSON インストールプログラム]が起動します。[ネットワークユーティリティのインストール（EM-900CN 用）]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。



[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しない場合は、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2　インストール

①[EpsonNet Direct Printのインストール]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。

②この後は、画面の指示に従ってインストールします。



3　Windowsの再起動

インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。
コンピュータを再起動すると、LPR直接印刷機能が使えるようになります。続いて次ページを参照し、プリンタを設定してください。

プリンタの設定

LPR印刷を行うプリンタを設定します。設定には、[ネットワークコンピュータ]からと、[プリンタの追加]からの2通りの方法があります。



- **「IPアドレスの設定」（23ページ）を参照して、ネットワークI/FのIPアドレスを設定しておいてください。IPアドレスが未設定および初期値（192.168.192.168）の場合は、[EPSON_LPR]で検索できません。**
- **検索されるLPRプリンタは、同一ネットワーク上にあるもののみです。**
- **ここで作成したプリンタは、Windowsのプリンタフォルダ内でプリンタアイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることはできません。**

ネットワークコンピュータから

1 **EPSONプリンタ画面の起動**

①Windowsの[ネットワークコンピュータ]画面を開きます。
EPSONのLPRネットワークコンピュータのグループアイコン[Epson_lpr]が表示されます。



②[Epson_lpr]画面を開くと、コンピュータと同一セグメントにある、TCP/IPの設定されたEPSONプリンタが、次の形式で表示されます。

ネットワークI/FのIPアドレス（プリンタ名）



2 **プリンタの設定**

①印刷に使うプリンタを選択して、ダブルクリックします。

②プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。

[プリンタの追加]から - ルータの外にあるプリンタを追加する場合

EpsonNet Direct Printでは、ルータを超えたプリンタが検索できませんので、ネットワークI/FのIPアドレスを直接指定します。

1 [プリンタの追加]の起動

[マイコンピュータ]の[プリンタ]画面で、[プリンタの追加]をダブルクリックします。

2 プリンタの追加

①[ネットワークプリンタ]を選択します。



②[ネットワークパスまたはキューの名前]で、次のパスを入力します。後は、画面の指示に従ってインストールします。

書式）\\Epson_lpr\追加するプリンタのネットワークI/FのIPアドレス

例）　\\EPSON_LPR\163.131.44.200



EpsonNet Direct Printのアンインストール

1 アンインストール画面の起動

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある、[アプリケーションの追加と削除]画面を開きます。

2 アンインストール

[セットアップと削除]画面で[EpsonNet Direct Print]を選択して、追加と削除ボタンをクリックします。
「'EpsonNet Direct Print'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はいをクリックします。
アンインストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。



- **EpsonNet Direct PrintによるLPRプリンタは、EPSONプリンタウィンドウ!2でも監視することができます。**
- **PRIFNW1/2/2ACおよびLP-9600/9300に同梱されているEPSONプリンタウィンドウ!2は、EPSON TCP/IPプリンタ（LPRプリンタ）を設定できます。このEPSON TCP/IPプリンタは、EpsonNet Direct PrintによるLPRプリンタと共存できます。**



**EpsonNet Direct PrintとEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしているコンピュータから、EPSONプリンタウィンドウ!2をアンインストールした場合、EPSONプリンタウィンドウ!2のフォルダ（EPSONフォルダ）は残ったままになります。
このフォルダは、LPRプリンタが正常に動作するために必要なフォルダです。削除しないでください。**

NetBEUI 印刷

クライアントとプロトコルの組み込み

お使いのコンピュータに、NetBEUIでの印刷に必要なプロトコルをインストールします。

1 Microsoft ネットワーククライアントの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。[現在のネットワーク構成]に[Microsoft ネットワーククライアント]がある方は追加不要です。

②[クライアント]を選択し、追加 ボタンをクリックして、[Microsoft ネットワーククライアント]を追加します。



2 NetBEUI プロトコルの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。[現在のネットワーク構成]に[NetBEUI]がある方は追加不要です。

②[プロトコル]を選択し、[NetBEUI]を追加します。



NetBEUI 設定

ネットワーク I/F の NetBEUI 設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssist または EpsonNet WebAssist から変更できます。

- NetBIOS 名　　　　　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　　:Workgroup
- デバイス名　　　　　:EPSON

EpsonNet WinAssist での設定方法

1　プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2　EpsonNet の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。

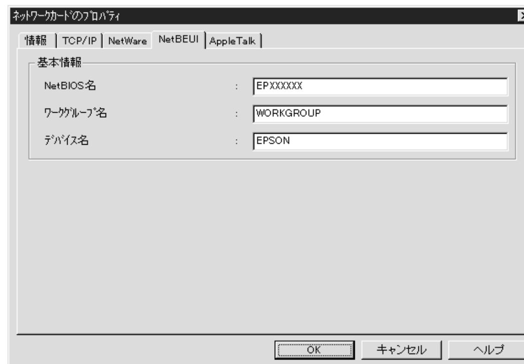




- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが未設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（120、121 ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetBEUIの設定

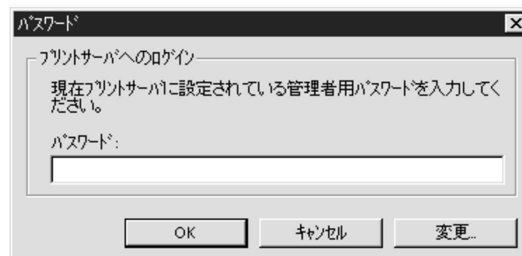
[NetBEUI]タブをクリックして、各項目を設定します。



設定項目	設定内容
NetBIOS名	プリンタのNetBIOS名（Microsoftでネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数15文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワークI/Fのシリアル番号の下6桁
ワークグループ名	Windowsネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数15文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数12文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COMなどは使用できません。

4 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。このメッセージが表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

EpsonNet WebAssistでの設定方法



- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetBEUIの設定

メニューの[設定]にある[NetBEUI]をクリックして、各項目を設定します。次ページを参照して設定してください。

NetBEUI

NetBEUI	Enable
NetBIOS名	EPXXXXXX
ワークグループ名	WORKGROUP
デバイス名	EPSON

[送信]

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable]を選択します。
NetBIOS名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

4 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（139 ページ）**をご覧ください。

ネットワーク パスワードの入力
認証情報を入力してください。
OK
キャンセル
リソース： EPSON TYPE-B NETWORK I/F CARD SET
ユーザー名(U):
パスワード(P): ********
このパスワードを保存する(S)
入力不要
パスワード入力

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

設定は正常に更新されました！
設定を有効にするためにはリセットの送信
またはプリンタの電源の再投入をしてください。
今すぐリセット

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

1 [プリンタの追加]起動

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウインドウから［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②右の画面で[ネットワークプリンタ]を選択します。



2 プリンタの選択

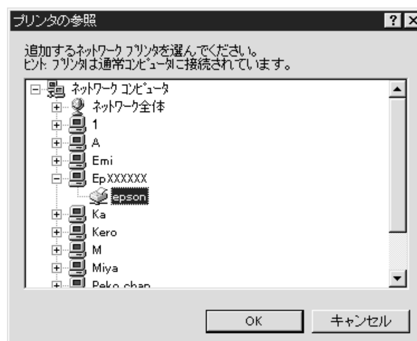
① 参照 ボタンをクリックします。



②表示されるリストから設定するプリンタを選択して、OK ボタンをクリックします。

③参照できない場合は①の画面に戻って、[ネットワークパスまたはキューの名前]欄に次のように入力します。

\\(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)\(ネットワーク I/F のデバイス名)



この後は画面の指示に従って設定してください。

8 WindowsNT4.0 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、WindowsNT4.0で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- WindowsNT 4.0
- LPR Port(TCP/IP)
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

TCP/IP の LPR Port 印刷ができます。

LPR Port での接続

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 ネットワークサービスの確認

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]をダブルクリックして、[サービス]画面に[Microsoft TCP/IP 印刷]があることを確認します。
[Microsoft TCP/IP 印刷]がない場合は、追加 ボタンをクリックして追加します。画面の指示に従ってください。



3 プリンタを LPR Port で接続

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウィンドウで[プリンタの追加]をダブルクリックします。
右の画面で[このコンピュータ]を選択し、次へ ボタンをクリックします。



② ポートの追加 ボタンをクリックします。



③[プリンタポート]画面が表示されるので、[LPR Port]を選択し、新しいポート をクリックします。





[Lexmark TCP/IP Network Port]は使用できません。

④[LPR 互換プリンタの追加]画面が表示されます。ネットワーク I/F の IP アドレスとプリンタ名を入力し、OK ボタンをクリックします。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



NetBEUI 印刷

NetBEUI プロトコルの組み込み

1

ワークステーションサービスの組み込み



[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[サービス]画面で 追加 ボタンをクリックして[ワークステーション]を追加します。
[ワークステーション]がある場合は追加不要です。

2

NetBEUI プロトコルの組み込み



[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で 追加 ボタンをクリックして[NetBEUI プロトコル]を追加します。
[NetBEUI プロトコル]がある場合は追加不要です。

NetBEUI の設定

ネットワークI/FのNetBEUI設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistから変更できます。

- NetBIOS名　　　　　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　　:Workgroup
- デバイス名　　　　　:EPSON

EpsonNet WinAssist から

1 **プリンタの起動**

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 **EpsonNet WinAssist の起動**

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。

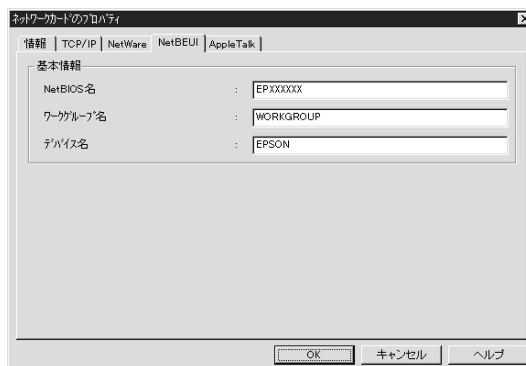




- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ステータスシートで確認できます。**
- **ネットワークI/FのIPアドレスが未設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（120、121ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetBEUI の設定

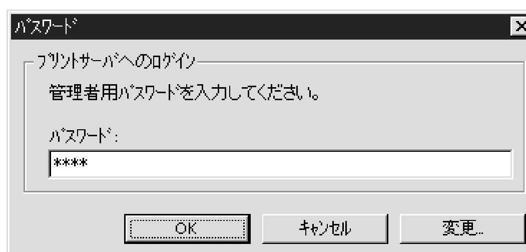
[NetBEUI]タブをクリックして、各項目を設定します。



設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。

4 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（122 ページ）**を参照してください。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。
このメッセージが表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

EpsonNet WebAssistから



- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して ブラウザの起動 ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetBEUIの設定

メニューの[設定]にある[NetBEUI]をクリックして、各項目を設定します。

NetBEUI

NetBEUI	Enable
NetBIOS名	EPXXXXXX
ワークグループ名	WORKGROUP
デバイス名	EPSON

送信

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable]を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

4 設定の保存

①送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（139 ページ）**をご覧ください。

ネットワーク パスワードの入力
認証情報を入力してください。
OK
キャンセル
リソース：EPSON TYPE-B NETWORK I/F CARD SET
ユーザー名(U):
パスワード(P): ********
このパスワードを保存する(S)
入力不要
パスワード入力

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

設定は正常に更新されました！
設定を有効にするためにはリセットの送信
またはプリンタの電源の再投入をしてください。
今すぐリセット

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

①[マイコンピュータ]-[プリンタ]で［プリンタの追加］を起動します。

②[ネットワークプリンタサーバー]を選択します。[共有プリンタ]から、設定するプリンタをクリックします。
参照できない場合は、[プリンタ]欄にパスを入力します。
\\(ネットワークI/FのNetBIOS名)\(ネットワークI/Fのデバイス名)

③この後は画面の指示に従って設定してください。



WindowsNT4.0 印刷

NET USE コマンド

WindowsNTをサーバとしてNetBEUIを使って接続する場合は、WindowsNTの仕様上、NET USEコマンドを使うことをお薦めします。設定方法は次のとおりです。

1 サービスの確認

[コントロールパネル]の[ネットワーク]で次のサービスが組み込まれていることを確認します。組み込まれていない場合は、追加 ボタンをクリックして追加してください。

- **WindowsNT4.0**
  [サービス]画面で[ワークステーション]または[サーバー]が組み込まれていることを確認します。

2 コマンド実行

コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式）NET_USE_プリンタポート:_\\ネットワークI/FのNetBIOS名\ネットワークI/Fのデバイス名（_は半角スペース）

例）　LPT1に設定する場合
C:\>NET_USE_LPT1:_\\EP93xxxx\EPSON

3 プリンタポートの選択（クライアント）

設定したプリンタを使用する場合は、プリンタポートを手順2で設定したポートにする必要があります。

- **Windows95/98**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[詳細]画面で手順2で設定したポートを選択します。
- **WindowsNT4.0**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[ポート]画面で手順2で設定したポートを選択します。

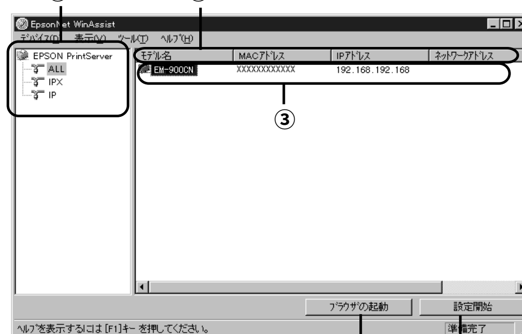
9 設定ユーティリティの各機能

この章では、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のオプション機能を含む各機能の概要を説明します。

EpsonNet WinAssist

リスト画面とメニュー

リスト画面



項目	説明
①ツリービュー	クリックすると、ツリーごとにネットワーク I/F 情報を表示します。**IPX 欄には、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしていないと、表示されません。**
②項目名	各項目をクリックすると、クリックした項目を元に並べ替えができます。また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズを調整できます。
③リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
④ ブラウザの起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動されます。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

メニューバー

ツールメニューの詳細は、このページから121ページの間で説明しています。

項目	説明
デバイス	
設定	選択したネットワークI/Fの設定を開始します。
ブラウザの起動	EpsonNet WebAssistを起動します。
アプリケーションの終了	EpsonNet WinAssistを終了します。
表示	
最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。
ツール	
タイムアウト設定	ネットワークI/Fとデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2～120秒の間で設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。
探索オプション	IP　IPの探索オプションを設定します。
	IPX　IPXの探索オプションを設定します。
ヘルプ	
トピックの検索	ヘルプを表示します。
レビジョン情報	レビジョン情報と著作権情報を表示します。

ツール - タイムアウト設定

[タイムアウト設定]では、ネットワークI/Fとデータを送受信する際に、通信エラーとするまでのタイムアウト時間を設定します。
2～120秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。



ツール - 探索オプション - IP

ネットワーク I/F を TCP/IP で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここで特定のアドレスを設定すると、設定したセグメントにあるネットワーク I/F が検索されます。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。



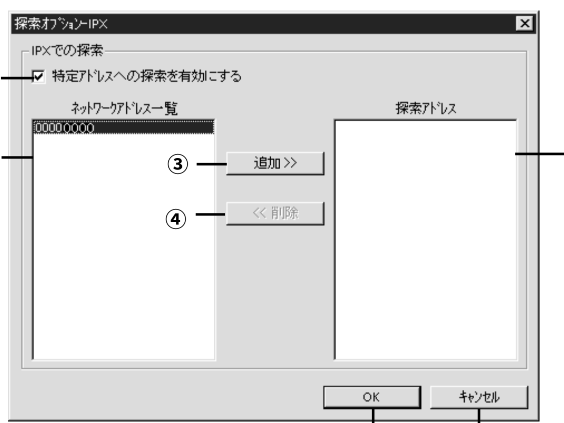
項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	ルータを越えたところにあるネットワーク I/F を探索する場合にチェックします。
②IP アドレス	探索する IP アドレスを入力します。(0～255) ネットワーククラスにより、次のように入力してください。 クラス A:[入力].[255].[255].[255] クラス B:[入力].[入力].[255].[255] クラス C:[入力].[入力].[入力].[255]
③IP アドレス一覧	登録済みの IP アドレスを表示します。
④ 追加	②で IP アドレスを入力したらクリックして追加します。最大 20 個登録できます。 **ローカルアドレスの追加は行わないでください。**
⑤ 削除	使わないアドレスを③で選択してクリックし、削除します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

ツール - 探索オプション - IPX

ネットワーク I/F を IPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここでネットワーク I/F のネットワークアドレスを設定します。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。



- **IPX の探索は、NetWare サーバに管理者の権限でログインしていれば行うことができます。**
- **ネットワークアドレスは、ネットワーク I/F のステータスシートの[NetWare]欄にある[Network Address]をご覧ください。**
- **ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。**



項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	特定のアドレスを探索する場合にチェックします。
②ネットワークアドレス一覧	現在のネットワークアドレスを表示します。
③ 追加	ネットワークアドレス一覧でアドレスを選択してクリックすると追加されます（最大 256 個登録可能)。
④ 削除	探索アドレスから使わなくなったアドレスを選択してクリックすると削除されます。
⑤探索アドレス	探索するネットワークアドレスを表示します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

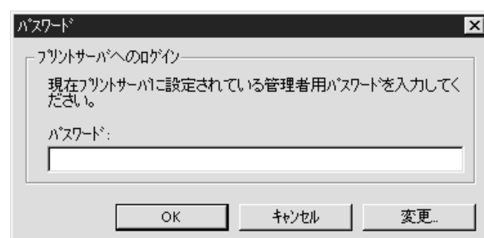
設定ユーティリティの各機能

設定画面

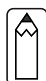
パスワードについて

EpsonNet WinAssist では、ネットワーク I/F の設定を保護するためのパスワードを設定できます。各設定画面で OK をクリックしたり、情報画面で 工場出荷時の状態に戻す をクリックすると、次の画面が表示されます。

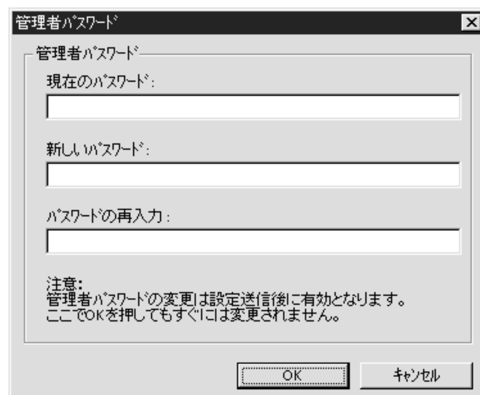
① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
初めてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。



② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。

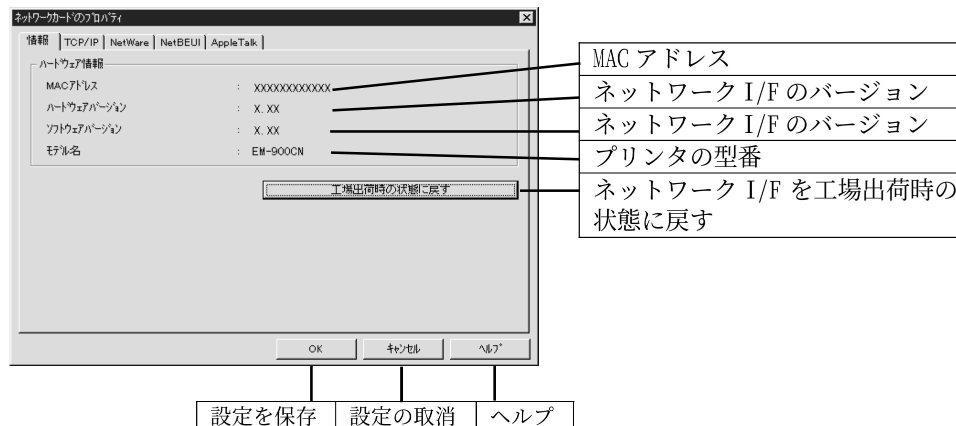


- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の[パスワード]画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード]画面で設定した直後は、[パスワード]画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワーク I/F の初期化」（9 ページ）を参照してください。**



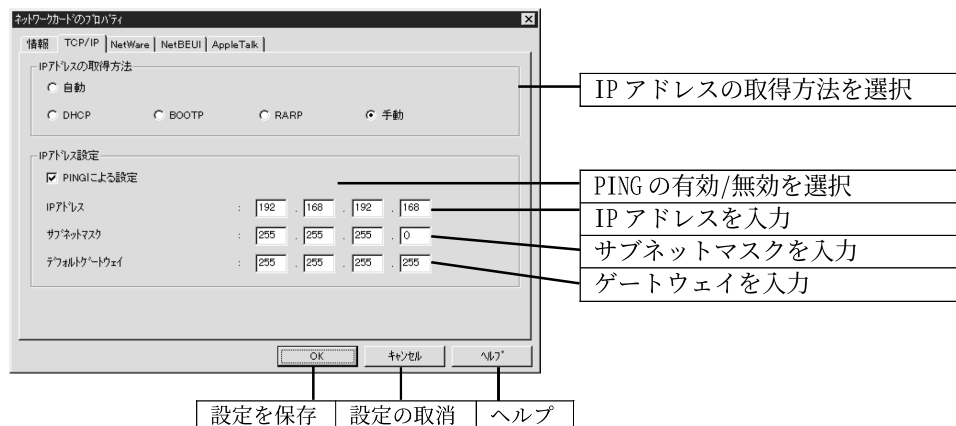
情報

この画面には、ネットワークI/Fの設定状態が表示されます。



TCP/IP

ネットワークI/FのTCP/IP情報を設定します。詳しくは**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。



NetWare- プリントサーバ

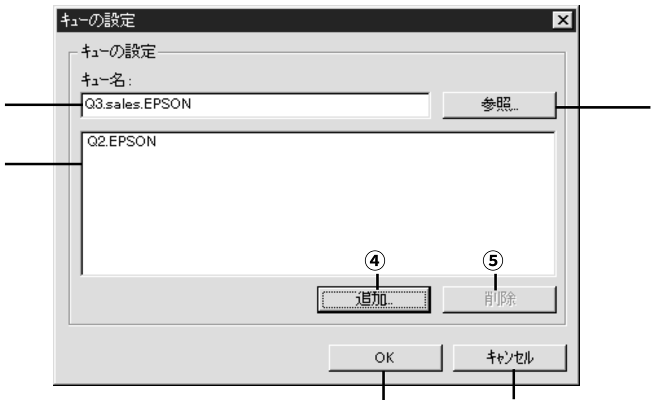
NetWare をプリントサーバで使う場合、この画面で設定します。詳しくは**「5 NetWare 印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
②NDS	
ツリー名	NDS ツリー名を設定します。
コンテキスト	NDS コンテキストを設定します。
参照	NDS コンテキストを選択できます。
③プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするサーバを選択します。 NDS モードの場合は設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択または入力します。
プリントサーバ パスワード	プリントサーバへログインするためのパスワードを入力します。
プリントサーバパスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
プリントキュー設定	キューの設定をします。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

NetWare- プリントサーバ - キューの設定

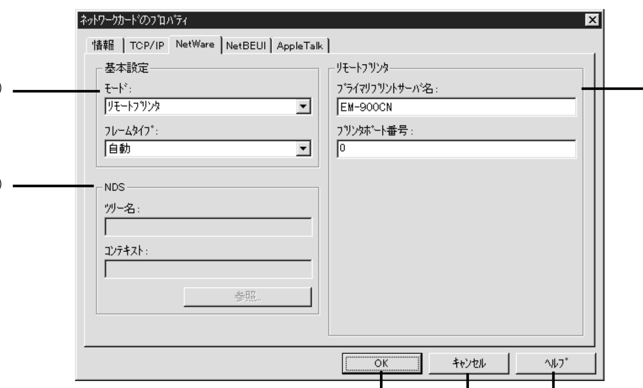
プリントサーバ設定で プリントキュー設定 ボタンをクリックした場合、この画面で設定します。詳しくは**「5 NetWare 印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①キュー名	割り当てるキューを表示します。
② 参照	キューの選択、作成、削除をします。
③キュー一覧	キューの一覧を表示します。
④ 追加	割り当てるキューを追加します。
⑤ 削除	キューの割り当てを解除します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

NetWare- リモートプリンタ

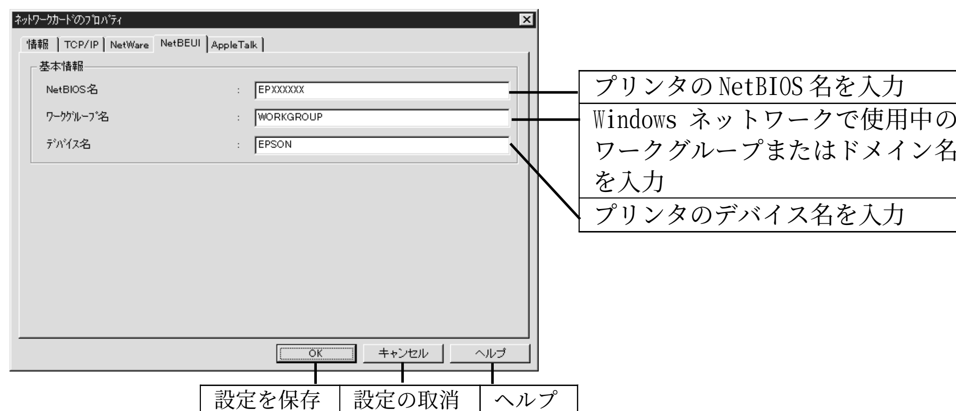
NetWareをリモートプリンタで使う場合、この画面で設定します。詳しくは**「5 NetWare印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
②NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
③リモートプリンタ	
プライマリ プリントサーバ名	プライマリプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を入力します。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

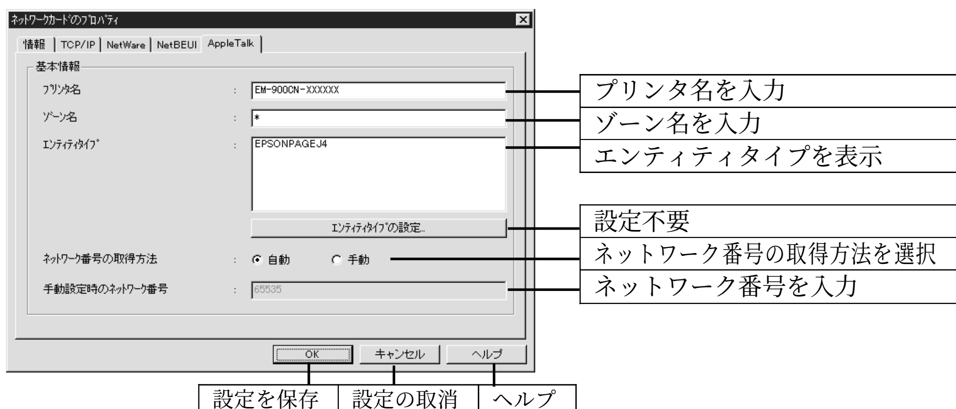
NetBEUI

NetBEUI を設定します。詳しくは**「7 Windows95/98 印刷」「8 WindowsNT4.0 印刷」**をご覧ください。



AppleTalk

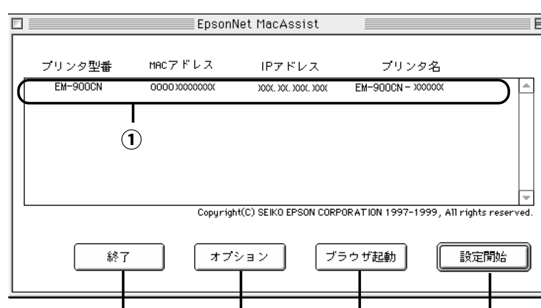
AppleTalk の設定をします。詳しくは**「6 AppleTalk 印刷」**をご覧ください。



EpsonNet MacAssist

リスト画面とオプション

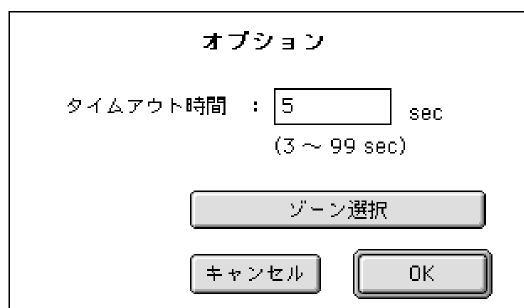
リスト画面



項目	説明
①リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
② 終了	EpsonNet MacAssist を終了します。
③ オプション	2 つの機能があります。詳しくは次ページをご覧ください。
④ ブラウザ起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。ブラウザが起動するとEpsonNet MacAssist は終了します。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

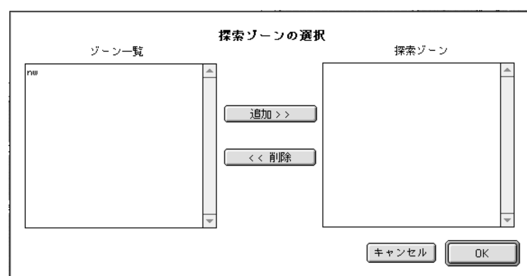
オプション - タイムアウト時間

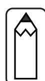
リスト画面で オプション ボタンをクリックすると表示されます。
EpsonNet MacAssistで1ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3～99秒の間で設定します。初期値は5です。
ここでの設定は、EpsonNet MacAssistを再起動したときに有効になります。



オプション - ゾーン選択

上のオプション画面で ゾーン選択 ボタンをクリックすると表示されます。
お使いのコンピュータのゾーン外にあるネットワークI/Fを表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても検索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssistを再起動したときに有効になります。





ゾーン名は最大2000まで表示されます。

検索したいゾーンを追加するときは、[ゾーン一覧]でゾーンを選択して 追加 ボタンをクリックします。検索が不要になったゾーンは、[探索ゾーン]で選択して 削除 ボタンをクリックします。OK をクリックして、設定を保存します。

設定画面

パスワードについて

EpsonNet MacAssistでは、ネットワークI/Fの設定を保護するためのパスワードを設定できます。設定画面で 送信 をクリックしたり、工場出荷時状態に戻す をクリックすると、次の画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

現在のプリントサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。

パスワード:

変更　キャンセル　OK

② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の[パスワード]画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者用パスワード]画面で設定した直後は、[パスワード]画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワークI/Fの初期化」（9ページ）を参照してください。**

管理者用パスワード

現在のパスワード：

新しいパスワード：

新しいパスワードの再入力：

注意：
管理者パスワードの変更は送信設定後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。

キャンセル　OK

設定画面

IPアドレスの設定とAppleTalkの設定を行います。詳しくは**「4 TCP/IPの設定」**、**「6 AppleTalk印刷」**をご覧ください。

項目	説明
①IPアドレスの設定	
IP アドレスの取得方法	IPアドレスの取得方法を選択します。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
②AppleTalkの設定	
プリンタ名	プリンタ名を入力します。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
ゾーン名	AppleTalkのゾーンを選択します。
ネットワーク番号設定	AppleTalkのネットワーク番号の設定方法を選択します。
ネットワーク番号	ネットワーク番号を入力します。
③ 工場出荷時状態に戻す	ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻します。
④ キャンセル	設定を取り消します。
⑤ 送信	設定を更新します。

EpsonNet WebAssist

オープニング画面

インデックスとメニュー



基本情報	ネットワーク I/F の情報とプリンタの状態を表示します。
NetWare	NetWare の情報を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の情報を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。
NetBEUI	NetBEUI の情報を表示します。
SNMP	SNMP の情報を表示します。

NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
NetBEUI	NetBEUI を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。

管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL を設定します。
リセット	ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。
ホームページの更新	EpsonNet WebAssist を更新します。

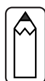
EPSON	ホームページ「I love EPSON」へ

情報

ここでは、[基本情報]について説明します。その他の項目は、次ページ[設定 - ネットワーク]の画面とほぼ同じです。

インターフェイスカード情報

ネットワーク I/F の情報と、プリンタの状態を表示します。



- **MAC アドレスは、ステータスシートでも確認できます。**
- **プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、[ステータス更新] ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。**

インターフェイスカード情報

管理者名	
インターフェイスカード型番	XXXXXXXXX
MACアドレス	XXXXXXXXXXXXX
ハードウェアバージョン	X. XX
ソフトウェアバージョン	X. XX
モデル名	EM-900CN
	印刷可能または印刷中

ステータス更新

ネットワーク I/F の管理者名

ネットワーク I/F の型番
ネットワーク I/F の MAC アドレス
ネットワーク I/F のバージョン
ネットワーク I/F のバージョン
プリンタモデル名を表示

プリンタの最新状態を表示

プリンタの状態を表示

ランプ	説明
緑	印刷可能または印刷中
黄	・紙残量少 ・トナー/インク残量少 ・警告
赤	・紙詰まり　・紙なし ・トナー/インクなし ・カバーオープン ・オフライン　・エラー

設定 - ネットワーク

詳しくは、5～9章をご覧ください。

NetWare

NetWare 基本設定

NetWare

NetWare基本設定

NetWare	Enable	NetWare 使用の有無を選択
フレームタイプ	Auto	フレームタイプを選択
動作モード	NDS Print Server	使用するモードを選択
NDSツリー名	EPSON	NDS ツリー名を入力
NDSコンテキスト	epson	半角英数文字（ASCII 文字）で NDS コンテキストを入力。2 バイト文字は不可。

プリントサーバ

プリントサーバ

プライマリファイルサーバ名	HOST	プリントサーバがログインするファイルサーバ名を入力
プリントサーバ名	EM-900CN-XXXXXX	プリントサーバ名を入力
ポーリング間隔(5-90)	5 sec	ポーリング間隔（秒）を設定
NetWareパスワード		NetWare のプリントサーバパスワードが必要な場合に入力

リモートプリンタ

リモートプリンタ

プライマリプリントサーバ名	EM-900CN-PS	プリントサーバ名を入力
プリンタポート番号(0-254)	0	プリンタのポート番号を設定
送信		設定を更新

TCP/IP

TCP/IP

項目	設定値	説明
IPアドレスの取得方法	Manual	IP アドレスの取得方法を選択
PINGによる設定	OFF	ping コマンドでの IP アドレス設定について、有効/無効を選択
IPアドレス	XX.XX.XXX.XXX	ネットワーク I/F の IP アドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	IP アドレスのサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	255.255.255.255	ゲートウェイ
送信		設定を更新

AppleTalk

AppleTalk

項目	設定値	説明
AppleTalk	Enable	AppleTalk 使用の有無を選択
プリンタ名	EM-900CN-XXXXXX	プリンタ名を設定
エンティティタイプ	EPSONPAGEJ4	プリンタのエンティティタイプを表示
ゾーン名	*	AppleTalk のゾーンを設定
ネットワーク番号設定	Auto	AppleTalk のネットワーク番号の設定方法を選択
Manual設定時の ネットワーク番号(0-65534)	65534	上で[Manual]を選択した場合は、ネットワーク番号を入力
送信		設定を更新

NetBEUI

画面項目	説明
NetBEUI [Enable]	NetBEUI 使用の有無を選択
NetBIOS名 [EPXXXXXX]	プリンタの NetBIOS 名を入力
ワークグループ名 [WORKGROUP]	Windows ネットワークで使用中のワークグループ名またはドメイン名を入力
デバイス名 [EPSON]	プリンタのデバイス名を入力
[送信]	設定を更新

SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。

SNMP

コミュニティ

IPトラップ

トラップ1　トラップ2

IPXトラップ

トラップ1　トラップ2

- **メニュー**

  メニューの[SNMP]をクリックすると左の画面が表示されます。ここで設定したい項目をクリックします。IP トラップ、IPX トラップはそれぞれ 2 つまで設定できます。

SNMP- コミュニティ

SNMP

コミュニティ	
Read Only	public
Read/Write	

送信

- コミュニティ名を表示（変更不可）
- MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を半角英数 32 文字以内で入力
- 設定を更新

SNMP- IP トラップ

SNMP

IPトラップ－トラップ1

トラップ	Disable
アドレス	0.0.0.0
コミュニティ名	

送信

- IP トラップ使用の許可/禁止を選択（初期値は Disable）
- トラップ送信先 IP アドレスを入力
- コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力
- 設定を更新

SNMP- IPX トラップ

SNMP

IPXトラップ－トラップ1

トラップ	Disable
アドレス	00000000:000000000000
コミュニティ名	

送信

- IPX トラップ使用の許可/禁止を選択（初期値は Disable）
- トラップ送信先 IPX アドレスを入力。書式は[ネットワークアドレス:ノードアドレス（MAC アドレス）]
- コミュニティ名を半角英数 32 文字以内で入力
- 設定を更新

オプション

管理者情報

ネットワークI/Fの管理者名を設定できます。また、よく使う任意のURLを設定すると、インデックスの[Favorite（名前は変更可能)]からリンクすることができます。パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

管理者情報

管理者名

管理者名 Favorite

お気に入り

お気に入り名 Favorite

お気に入りURL http://

説明

送信

管理者名	ネットワークI/Fの管理者名を、半角英数128文字以内または全角64文字以内で入力
お気に入り名	リンク名を半角英数 20 文字以内または全角10文字以内で入力
お気に入りURL	リンクしたい URL を半角英数 64 文字以内で入力。ftp:へのリンクは不可。
説明	リンク先の説明を半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力。入力した内容は本画面でのみ表示。
送信	設定を更新

リセット

ネットワークI/Fのリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。

インターフェイスカードの
リセットと工場出荷時設定

注意！

インターフェイスカードをリセットしようとしています
続けてもよろしいですか？

リセット

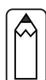
工場出荷時設定

リセット	ネットワーク I/F の設定を有効にする。各設定の終了画面 [今すぐリセット] をクリックするか、プリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要。
工場出荷時設定	ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す。

パスワード

パスワードはネットワークI/Fの設定内容を保護するためのものです。ここで設定したパスワードは、各設定画面でネットワークI/Fの設定を更新するときに使います。半角英数20文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。入力したパスワードは“＊”で表示されます。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

パスワード		
旧パスワード	[ ]	旧パスワードを入力
新パスワード	[ ]	新しいパスワードを入力
パスワードの再入力	[ ]	新しいパスワードを再入力
送信		設定を更新



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワークI/Fの初期化」（9ページ）を参照してください。**

ホームページの更新

通常はここでの設定は不要です。

ホームページの更新	
注意！ ホームページを更新しようとしています続けてもよろしいですか？	
ファイル名: [ ] 参照...	ファイル名を入力します。同梱のCD-ROMをセットして参照ボタンをクリックし、CD-ROMドライブの[IndexJ.pac]ファイルを選択します。
更新	指定したファイルのEpsonNet WebAssistに更新します。通常は使用しないでください。

10 EpsonNet WebManager について

この章では、ネットワークデバイスをWebブラウザで管理するユーティリティ、EpsonNet WebManagerについて説明します。

はじめに

EpsonNet WebManagerについて

EpsonNet WebManagerは次のような特長を持つユーティリティソフトです。

- EpsonNet WebManagerは、ネットワークデバイス管理用のユーティリティソフトです。
  ネットワーク上に接続されているプリンタと、プリンタに装着されているネットワークI/Fを探索し、現在どのような状態にあるかを確認したり、設定を変更したりできます。
  また、複数のデバイスをまとめて管理するために、グループごとに分類することもできます。
- EpsonNet WebManagerは、ネットワークの管理を行う方が使用してください。
  ネットワーク管理者の方は、WebブラウザでEpsonNet WebManagerをインストールしたコンピュータにアクセスすることで、ネットワーク上のデバイス管理が可能になります。
- EpsonNet WebManagerはWebブラウザ上で動作します。このためWindows、Macintoshといったマルチプラットフォームに対応しています。
  ただし、EpsonNet WebManager自体のインストールは、Windows95/98/NT4.0/NT3.51上でのみ行えます。
- EpsonNet WebManagerは、本書144ページに示すEPSON製プリンタの他にも、プリンタMIB対応の他社製プリンタを管理できます。
  ただし、他社製プリンタの場合、一部の情報の表示や設定ができない場合があります。

動作環境

EpsonNet WebManagerは次の環境で動作します。



- EpsonNet WebManagerを使う前に、使用するコンピュータとプリンタがネットワークに接続され、必要な設定が済んでいることを確認してください。
- EpsonNet WebManagerはWebブラウザ上で動作します。Webブラウザを使用するには、お使いのコンピュータにTCP/IPを組み込む必要があります。TCP/IPの組み込みについては、ネットワークI/Fの取扱説明書を参照してください。
  また、どのコンピュータに、EpsonNet WebManagerを使うための環境設定をするかは、本書「EpsonNet WebManagerの使用形態」(148ページ)を参照してください。

サーバ

EpsonNet WebManagerは、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールします。
EpsonNet WebManagerがインストールできるコンピュータは次のとおりです。

コンピュータ

下記のOSが動作可能なIBM PC-AT互換機

- CPU :Pentium 200MHz以上
- メモリ :64MB以上
- HDD :空き容量20MB以上

OS

- Microsoft WindowsNT4.0/3.51(Intel版 Server/Workstation)
- Microsoft Windows95/98



本書では、EpsonNet WebManagerをインストールするコンピュータをサーバと呼びます。

クライアント

EpsonNet WebManagerは、Webブラウザ上で動作します。
このため、クライアントとして機能するコンピュータがMacintoshであっても、Webブラウザがインストールされていれば、Webブラウザ上からサーバにアクセスして使用することができます。

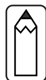
EpsonNet WebManagerを使用するために必要なWebブラウザの種類とバージョンについては、Readme.txtファイルを参照してください。Readme.txtファイルは、CD-ROM中のEnwebmフォルダにあります。



画面の設定は、解像度1024×768、256色以上でお使いになることをお薦めします。

EpsonNet WebManagerで管理できるデバイス

EpsonNet WebManagerでは、次のデバイスを管理することができます。



- **本書での「デバイス」は、プリンタと、プリンタに装着したネットワークI/Fカードを指します。**
- **デバイスの組み合わせにより、EpsonNet WebManagerの一部の機能が使用できない場合があります。詳しくは「使用可能な機能とデバイスの組み合わせ」（146ページ）を参照してください。**

プリンタ

EpsonNet WebManagerで管理できるプリンタは、次ページに記載のネットワークI/Fでネットワーク上に接続されている、次のプリンタです。（'99年5月現在）

EPSON製プリンタ

- ページプリンタ

  LP-1700/1700S/1800　LP-8200/8300/8300S/8400/8600
  LP-9200/9200S/9200SX　LP-9300/9600
  LP-8000C（コピーサーバCS-5500Nに接続されたLP-8000Cも含みます）

- インクジェットプリンタ

  EM-900C/900CN　MJ-910C/930C
  MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C　PM-5000C/9000C

- ドットマトリックスプリンタ

  VP-1800/1850/2200　VP-4100/4200　VP-5100/5200/6200

上記以外のEPSON製プリンタについては、次の条件を満たしていれば、EpsonNet WebManagerで管理できます。

- 次ページ「ネットワークI/F」に記載のネットワークI/Fカードが使用可能なプリンタ、またはネットワークI/Fを標準で装備しているプリンタ



次のEPSON製プリンタは、EpsonNet WebManagerでは管理できません。

- **次ページ「ネットワークI/F」に記載のネットワークI/Fカードが使用できないプリンタ**
- **PSプリンタ（PostScript対応のプリンタ）**

他社製プリンタ

他社製プリンタの場合、プリンタMIBに対応しているプリンタであれば、原則としてEpsonNet WebManagerで探索し、一覧に表示させることが可能です。しかし、プリンタやネットワークI/Fの状態や設定の確認、変更はできない場合があります。

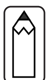


MIB（Management Information Base）とは、ネットワーク上に接続されているコンピュータや各種の装置の状態を管理する事を目的として、管理のための情報の構造を定めたものです。
他社製のプリンタであってもプリンタMIBに対応していれば、EpsonNet WebManagerはプリンタMIBに登録されている情報によって、そのプリンタの管理を行います。

ネットワークI/F

EpsonNet WebManagerで管理可能なネットワークI/Fは次のとおりです。
（'99年5月現在）

- PRIF8S
- PRIF12
- PRIFNW1/2/2AC
- PRIFNW1S/2S/2SAC
- LP-9300/9600に標準装備のネットワークI/F
- CS-5500Nに標準装備のネットワークI/F



- **EpsonNet WebManagerを使用する場合、EpsonNet WinAssist/WebAssistで[PINGによる設定]のチェックを外してください（またはOFFにしてください）。**
- **PRIF8Sで使えるのは、状況監視機能のみです。EpsonNet WebManagerから、プリンタやネットワークI/Fの設定を変更することはできません。**

使用可能な機能とデバイスの組み合わせ

使用可能な機能

EpsonNet WebManagerのデバイス管理機能は、大きく分けると次のようになります。お使いの環境でこれらの機能が使えるかについては、次ページをご覧ください。

・ デバイスの探索と一覧表示

ネットワーク上に接続されているデバイス（プリンタとネットワークI/F）を探索し、EpsonNet WebManagerで一覧を表示します。また各デバイスの現在の状態を表示します。

・ デバイス詳細

EpsonNet WebManagerで、ネットワーク上のデバイス設定を変更します。

・ ネットワーク設定

EpsonNet WebManagerで、デバイスのネットワークI/F設定を変更します。

・ グループ管理

ネットワークに接続されている複数のデバイスをグループごとにまとめて、デバイス管理を行いやすくします。

デバイスの組み合わせ

プリンタとネットワークI/Fの組み合わせによって、次のように一部の機能が使用できない場合があります。

デバイスの組み合わせ		EpsonNet WebManagerの機能			
プリンタ	ネットワークI/F	デバイスの探索と一覧表示	デバイス詳細	ネットワーク設定	グループ管理
EPSON製プリンタ	PRIF8S	○	×	×	○
EPSON製プリンタ	PRIFNW1/2/2AC	○	×	○	○
EPSON製プリンタ（プリンタMIB未対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○
EPSON製プリンタ（プリンタMIB対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○
EPSON製プリンタ	プリンタに標準装備のネットワークI/F	○	○	○	○
他社製プリンタ（プリンタ MIB対応）	プリンタで使用可能なネットワークI/F	△	△	×	△

△・・・表示、管理のできない場合があります。

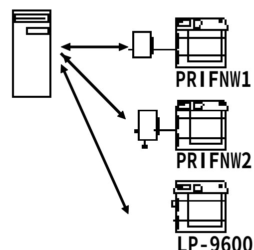


- **EPSON製プリンタで、プリンタMIBに対応している機種は次のとおりです。（'99年5月現在）**
  LP-9300/9600
- **EPSON製プリンタで、ネットワークI/Fを標準装備している機種は次のとおりです。（'99年5月現在）**
  LP-9300/9600、EM-900C/900CN
- **上の表で、「デバイス詳細」が使用可能となっているデバイスでも、プリンタによっては設定できない画面や項目があります。**
- **他社製プリンタ（プリンタMIB対応）でも、ネットワークI/FがHTTPD機能を持っていれば、「ネットワーク設定」が可能なものもあります。**

EpsonNet WebManagerの使用形態

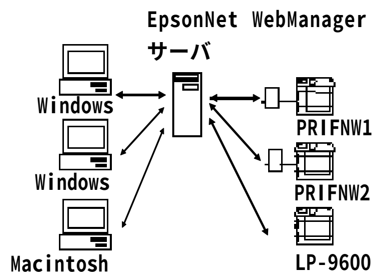
EpsonNet WebManagerは、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Webブラウザ上で使用します。
EpsonNet WebManagerの使用形態には次の2種類があります。

① EpsonNet WebManagerとWebブラウザを同一コンピュータ上で使用



ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータに、EpsonNet WebManagerとWebブラウザをインストールします。EpsonNet WebManager専用のサーバを用意する必要はありません。
1台のコンピュータでネットワーク上のデバイスを管理できます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51をお使いください。

② EpsonNet WebManagerとWebブラウザを別のコンピュータ上で使用

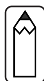


EpsonNet WebManagerはネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Webブラウザはクライアントとして動作するコンピュータにインストールします。

クライアントコンピュータからWebブラウザを起動し、サーバ上のEpsonNet WebManagerにアクセスして、EpsonNet WebManagerを使用します。
この場合、Windowsの他、MacintoshからEpsonNet WebManagerを使用して、ネットワーク上のデバイスの管理を行うことができます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51をお使いください。

インストール

EpsonNet WebManager は次の手順でインストールします。Windows95 の画面を例に説明します。



EpsonNet WebManager をクライアントでも使用する場合（前ページの②の場合）は、クライアントにサーバの IP アドレスまたはホスト名を知らせてください。
この場合、クライアントに EpsonNet WebManager をインストールする必要はありません。

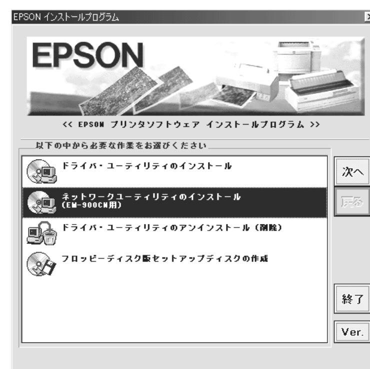
1 **環境設定**

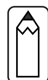
インストールするコンピュータに、TCP/IP がインストールされ、IP アドレスまたはホスト名が設定されていることを確認します。ホスト名は、Windows ディレクトリで hosts ファイルまたは Lmhosts ファイルに登録します。

2 **インストールの開始**

①プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

②右の画面が自動的に表示されたら、[ネットワークユーティリティのインストール（EM-900CN 用）]をクリックして 次へ ボタンをクリックします。





- **WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを入力し、 OK ボタンをクリックします。**
  例）　D:\EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）
- **Windows95/98/NT4.0 をご利用の場合で[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

③[EpsonNet WebManagerのインストール]をクリックして 次へ ボタンをクリックします。



3 インストール

[ようこそ]の画面が表示されますので 次へ をクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。



EpsonNet WebManagerの起動

起動方法

サーバからの起動

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールした場合、サーバからの起動方法は次のとおりです。

Windows95/98/NT4.0

Windows[スタート]メニューの[プログラム]-[EpsonNet WebManager]-[EpsonNet WebManager]をクリックして起動します。

WindowsNT3.51

プログラムマネージャの[EpsonNet WebManager]グループにある[EpsonNet WebManager]をダブルクリックして起動します。

上記の方法とは別に、Webブラウザから起動することもできます。Webブラウザからの起動方法については、次項「クライアントからの起動」を参照してください。

クライアントからの起動

ネットワーク上でクライアントとして機能するコンピュータからEpsonNet WebManagerを起動するには、はじめにクライアント上でWebブラウザを起動し、Webブラウザ上からサーバにインストールしたEpsonNet WebManagerを起動します。

1 Webブラウザの起動

クライアント上で、Webブラウザを起動します。

2 EpsonNet WebManagerの起動

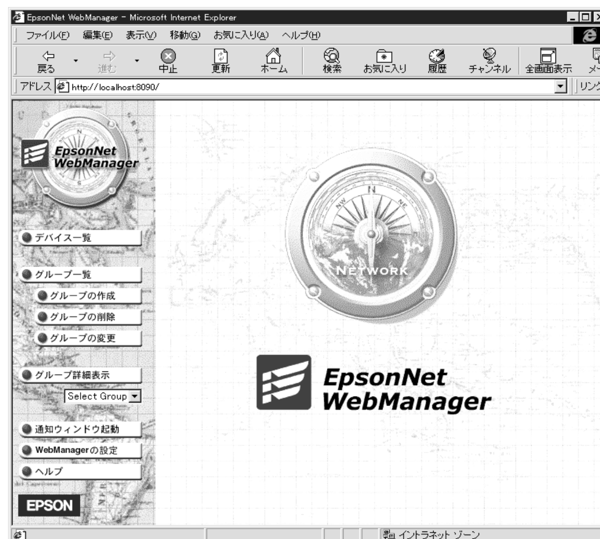
Webブラウザ上で、次のURLを入力します。

書式）http://サーバのIPアドレスまたはホスト名:8090

例）　http://192.168.100.201:8090
（サーバのIPアドレスが192.168.100.201の場合）

起動時の画面について

EpsonNet WebManagerが起動すると、はじめに次の画面が表示されます。



上記の画面で、画面左側に表示されているボタンをクリックすると、各ボタンの項目に対応した画面が表示されます。

上記の画面が表示されたら、はじめに画面左側の[デバイス一覧]ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されます。



上記の画面で、画面中央の[デバイス情報更新]ボタンをクリックすると、ネットワーク上に接続されているデバイスを探索し、デバイスの一覧と各デバイスの状況が画面の下半分に表示されます。

オンラインマニュアルの見方

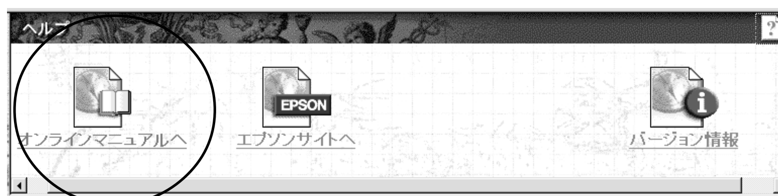
EpsonNet WebManagerの操作方法は、EpsonNet WebManagerの[ヘルプ]画面にある[オンラインマニュアル]をご覧ください。オンラインマニュアルは次の手順で起動します。

1 ヘルプ画面の表示

EpsonNet WebManagerを起動して、画面左側のメニューにある[ヘルプ]をクリックします。

2 オンラインマニュアルの表示

次の画面が表示されるので、[オンラインマニュアルへ]をクリックすると、表示されます。また、EpsonNet WebManagerの各設定画面の右上にある ? ボタンをクリックすると、操作にあったヘルプが表示されます。



EpsonNet WebManagerについて

アンインストール

EpsonNet WebManagerのアンインストールは次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

1 **コントロールパネルの起動**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

2 **アンインストール**

[セットアップと削除]画面でEpsonNet WebManagerを選択し、追加と削除 ボタンをクリックします。



「'EpsonNet WebManager'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

WindowsNT3.51

1 **アンインストール画面の起動**

[EpsonNet WebManager]グループにある[アンインストール]をダブルクリックして起動します。

2 **アンインストール**

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。
「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

11 付録

EpsonNet WinAssist のアンインストール方法などを説明します。

EpsonNet WinAssistのアンインストール

EpsonNet WinAssistのアンインストールは次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開きます。

②[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

③[セットアップと削除]画面で[EpsonNet WinAssist]を選択し、追加と削除 ボタンをクリックします。



④「’EpsonNet WinAssist’とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

WindowsNT3.51

①[EpsonNet WinAssist (共通)]グループにある[アンインストール]をダブルクリックして起動します。

②「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

③「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

困ったときは

ここでは、トラブルが発生した時の処置について、各OS毎に説明します。

全OS共通

ネットワークI/Fの設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置）

まず、ネットワークI/Fのステータスシートボタンを押してステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。（**「2 ハードウェアの準備」**参照）
ステータスシートの印刷ができない場合は、プリンタ本体の[I/Fキリカエ]が、[ジドウ]もしくは[オプション]、[I/Fコテイ]になっているか確認してください。ステータスシートの印刷が可能な場合は、ステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかをご確認ください。

設定するIPアドレスが分からない

処置）

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う際にはJPNIC(http://www.nic.ad.jp/index-j.html)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918で規定されています）。

プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254
ただし、ネットワークI/FのIPアドレスに[192.168.1.255]は使用できません。

EpsonNet WinAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WinAssistのインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssistが起動しなくなります。EpsonNet WinAssistをアンインストールし、再度インストールをしてください。

EpsonNet WinAssistの起動時に「TCP/IPプロトコルが利用できません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータにTCP/IPが組み込まれていない場合
- コンピュータのIPアドレスが正しく設定されていない場合
- DHCPサーバからアドレスを取得する設定下で、DHCPサーバがない場合

処置）

OK ボタンをクリックするとEpsonNet WinAssistが起動しますが、TCP/IPの設定はできません。お使いのコンピュータの状態を確認して、TCP/IPの組み込みとIPアドレスの設定をしてください。設定方法は**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

EpsonNet WinAssist/MacAssistで設定情報を送信すると、「設定情報の送受信が完了していません」というメッセージが表示される

ダイヤルアップルータをお使いの場合に、この現象が発生することがあります。

処置）

EpsonNet WinAssist/MacAssistがインストールされているコンピュータで[MS-DOSプロンプト]を起動し、次のコマンドを実行してください。

書式）>ROUTE_ADD_ネットワークI/FのIPアドレス_設定するコンピュータのIPアドレス（_は半角スペース）

例）　>ROUTE_ADD_192.168.192.168_11.22.33.44

EpsonNet WebAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WebAssistを実行するには、まずEpsonNet WinAssist/MacAssistかpingコマンドを使用して、ネットワークI/FのIPアドレスを設定する必要があります(**「4 TCP/IPの設定」**参照)。現在の設定は、ステータスシートの[IP Address]欄で確認できます。

EpsonNet WebAssistで英語が表示される

処置）

[Update Home Page]で、EpsonNet WebAssistをアップデートする必要があります。アップデートの方法は、**「ホームページの更新」（139ページ）**をご覧ください。

ARP/PINGコマンドでネットワークI/FのIPアドレスを設定できない

処置1）

EpsonNet WinAssist（25ページ）/WebAssist（30ページ）の[TCP/IP]設定画面で、[PINGによる設定]を有効に設定してください。

処置2）

pingコマンドを実行後、「Reply from (IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PINGコマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssistの[モデル名]に何も表示されず、[IPアドレス]に[NONE]と表示される

処置1）

ネットワークI/FのIPアドレスが初期値の場合、[モデル名]と[IPアドレス]が表示されない場合がありますが、ネットワークI/Fの設定は行えます。ネットワークI/Fの設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置2）

EpsonNet WinAssist[表示]メニューの[最新の状態に更新]を実行してください。

処置3）

EpsonNet WinAssist[ツール]メニューの[タイムアウト設定]で、タイムアウト時間を大きい値に変更してください。この場合、EpsonNet WinAssistの動作が遅くなります。ご注意ください。

IPアドレスの変更を行っていないのにIPアドレスが変わってしまう

処置）

EpsonNet WinAssistまたはWebAssistで次のように設定してください。

EpsonNet WinAssistの場合は、[TCP/IP]画面で、[IPアドレスの取得方法]を[手動]にし、[PINGによる設定]のチェックを外します。
EpsonNet WebAssistの場合は、[TCP/IP]画面で、[IPアドレスの取得方法]を[Manual]にし、[PINGによる設定]を[OFF]に設定します。

プロトコルの使用を止めたい

処置）

NetWare、AppleTalk、NetBEUIを使用しない、または使用を止めたい場合はEpsonNet WebAssistを使って[Disable]を選択します。
NetWareを使用しない場合に[Enable]を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに余分な回線使用料のかかる恐れがあります。
初期値は[Enable]です。

NetWare環境

NetWareサーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）

サーバでキュー/プリントサーバのユーザに、印刷を行なおうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWareサーバにネットワークI/Fがログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet WinAssist/WebAssistが正しく起動しない

処置）

MicrosoftのService for NetWare Directory Serviceがインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssist/WebAssistが正常に起動しない場合があります。NDSサービスをご利用の場合はNovellクライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssistのリスト画面で、IPXグループにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

・ プリンタの電源がオンになっているか

・ ネットワークI/Fが、EpsonNet WinAssistを使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください）

・ NetWareサーバのIPXにバインドしているEthernetフレームタイプとネットワークI/Fに設定してあるフレームタイプが同じになっているか

EpsonNet WinAssistの起動に時間がかかる

コンピュータにNovellクライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft社製NetWareクライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークにIPXを使用するため、EpsonNet WinAssistの動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置）

① [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]で、IPX/SPX互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、[プロパティ]を起動します。

② [バインド]タブを選択して、使用しないIPX/SPX互換プロトコルや、Novell NetWareクライアント用プロトコルのチェックを外します。

Macintosh 環境

セレクタにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

- Open Transport 搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[AppleTalk]で[Ethernet]が選択されているか
- Open Transport 非搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[ネットワーク]で[EtherTalk]が選択されているか

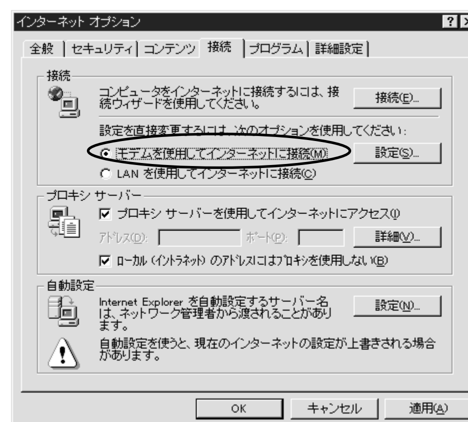
セレクタでAppleTalkが[使用]になっているか、ハブ、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

Windows95/98 環境

Windows95/98 から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

インターネットの設定で[起動時にダイヤルアップでインターネットに接続](インターネットエクスプローラ4.0x の場合は[モデムを使用してインターネットに接続])が設定されていると、このメッセージの出ることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。



索引

付録

ア

イ

エ

オ

カ

キ

コ

サ

シ

ス

ソ

タ

ツ

テ

ト

ネ

ハ

フ

ホ

メ

モ

リ

ワ

付録



本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。